JZ

KL-H30

取扱説明書

保証書別添



本機をご使用になる前に、必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

RJA511236-1

CASIO®

安全上のご注意

このたびは、本機をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は感電注意)

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例はプラグをコンセントから抜く)

⚠危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

⚠警 告

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機専用の別売品（AD-A95100IJ）を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

ACアダプターについて

濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。

感電の原因となります。

⚠警 告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水、異物はさける

水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

⚠警 告

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠警 告

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠注 意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずACアダプター本体を持って抜く）
- ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- 使用後は本体の電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ACアダプターのプラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する

⚠注 意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

⚠注 意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

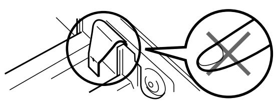
大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

⚠注 意

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。



テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

1章
2章
3章

4章
5章

この取扱説明書の読みかた

マークの意味

重要　操作を進めていくうえで、欠かすことのできない**注意事項**や**制限事項**などが掲載されていることを示します。

参考　知っておくと**役にたつ情報**や、そこで説明されていることとは少し違った使いかたなどが紹介されていることを示します。

参照　ほかのページでさらに詳しく説明されていることを示します。

キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を[T か]や[実行]などのように表記しています。

例　**[T か]を押したあとに続けて[実行]を押すときの表記**

↓

[T か][実行]**と押します。**

- 本機のキーの上（または下）に「[機能]と同じ色」で書かれている機能（「こだわり」や「文削除」など）を使うには、[機能]を押したあとに続けて「[機能]と同じ色」で書かれている下（または上）のキーを押します。

例　**「こだわり」機能を使うときの表記**

↓

[機能][こだわり/アレンジ]**と押します。**

- 操作手順の中で、「[∧][∨][<][>]を押して…」と表記されているときは、[∧][∨][<][>]のどれかを押してください。4つのキーすべてを押す必要はありません。

※本機の通常の操作では複数のキーを同時に押すことはありません。なお、複数のキーを同時に押す場合は、「～と…をいっしょに押しながら」などの表現を用います。

※本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。

こんなことができます

本機では、くらしの中ですぐに使えるラベルの内容や、身の回りの整理整頓に役立つラベルの内容があらかじめ記憶されています。
そのまま印刷しても、自分流に変更して印刷することもできます。
また、自分で作ったラベルを自由にアレンジして、オリジナルラベルを作ることもできます。

なまえラベルも簡単に作れます！

■なまえラベル

ふじわらのりこ

ふじわらゆりか

すぐに使えるラベルは、本機の中に記憶済み！

■整理・収納ラベル

チリパウダー

消しゴム

■ガーデニングラベル

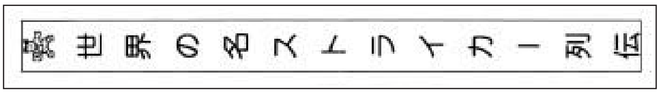
アサガオ

Carnation

フォーマットを選んで文字を入れるだけ！

■用途別ラベル

用途別ラベルでは、あらかじめ用意されたサンプルやフォーマットを使って、ラベルを作ることができます。



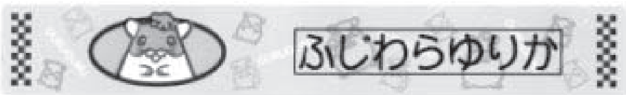


■スリムフォーマット

MDやCD-R用の幅の狭い背ラベルを作ることができます。

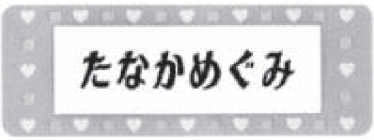
BEST HIT コレクション ドライブ編

■ファンシーラベル





■クラフトラベル



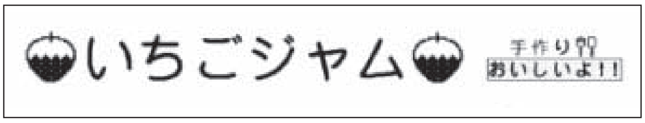


こんなラベルを作るには

次のような手順で、本書をご利用ください。
第1章　本機の使いかた（→12ページ）
↓
第4章　本機のデータを利用して作る（→44ページ）

自分だけのオリジナルラベルも自由自在！

お誕生日
おめでとう アニタちゃん



作った日：
H15.9.23 りんごのジャム おいしいよ！

こんなラベルを作るには

次のような手順で、本書をご利用ください。
第1章　本機の使いかた（→12ページ）
↓
第5章　自分だけのデザインで作る（フリーラベル）（→62ページ）

MEMO

本機を使う前に

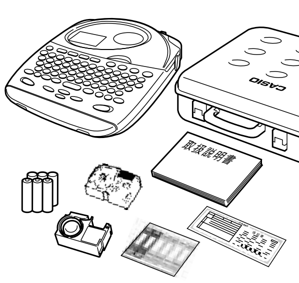
ここでは、
- ●本機を買ったあとで必ず行わなければならないこと
- ●ラベルを作ってから印刷するまでの大きな流れ

について、紹介しています。

本機をはじめて使うかたは、ここをきちんと読んで、本機でラベルを作るときの流れをつかみましょう。

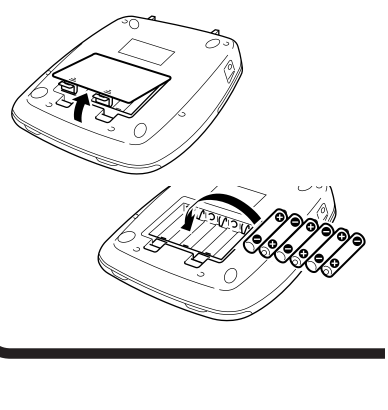
①箱の中身を確認する

ちゃんとそろっていますか？
もしそろっていなかったら、お買い上げの販売店か、巻末のカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。



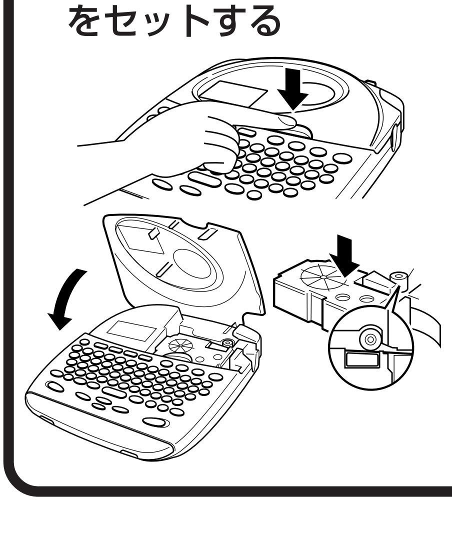
詳しくは17ページ

②乾電池をセットする



詳しくは18ページ

③テープカートリッジをセットする



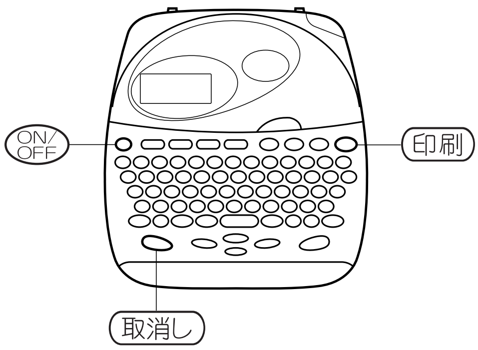
詳しくは19ページ

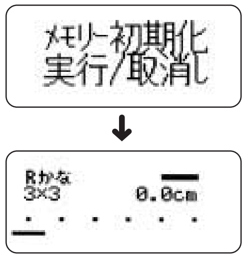
これは、本機を買って、はじめてお使いになるときだけの操作です。
「初期化」をすると、本機に記憶させたデータが全部消えてしまいます。

まだまだ続きます➜

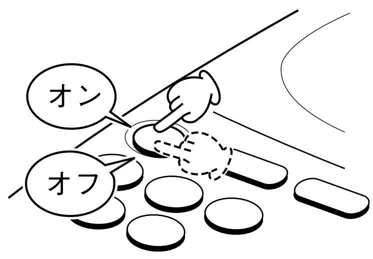
④メモリーを初期化する

(印刷)(取消し)をいっしょに押しながら、(ON/OFF)を押します。
その後、(ON/OFF)を離してから、(印刷)と(取消し)を離します。





⑤電源を入れる



詳しくは20ページ

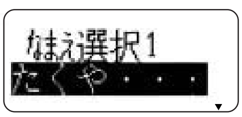
詳しくは25ページ

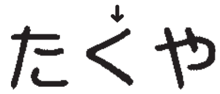
本機でラベルを作るときは、下のようにいろいろな作りかたがあります。
このあとのページでは、「なまえラベル」と「用途別ラベル」を作ってみましょう。

⑥ラベルを作る

なまえラベル

(なまえ)





整理・収納ラベル

(整理·収納)

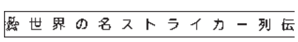




定型フォーマット（用途別ラベルなど）

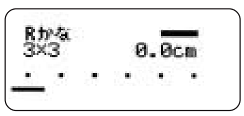
(定型フォーマット)

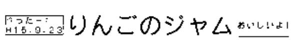




フリーラベル

ラベルの長さや文字の配置などを自由に決めることができます。





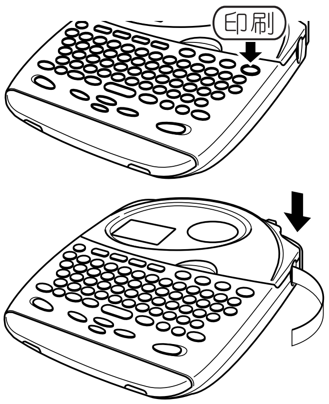
46ページ

50ページ

54ページ

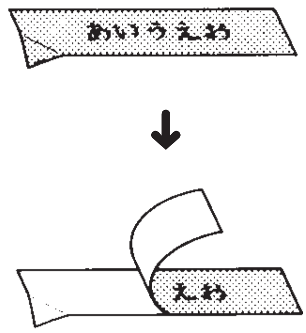
62ページ

⑦印刷する ラベルをカットする



詳しくは86ページ

⑧ラベルの裏紙をはがす



詳しくは86ページ

⑨ラベルを貼る

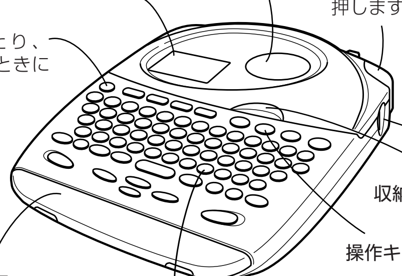


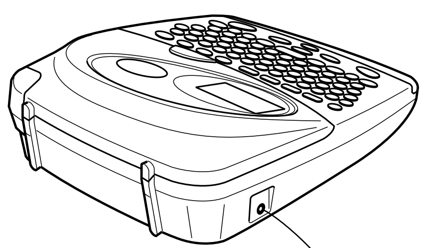
詳しくは86ページ

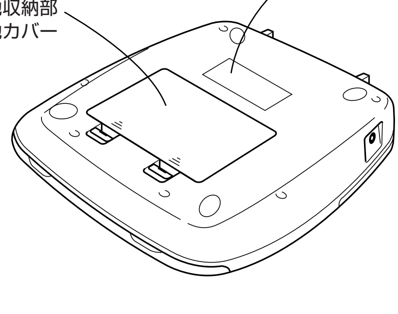
とりあえずラベルを作ってみましょう

ここからのページで、一通りラベルを作ってみましょう。
「箱の中身を確認する」ところから、「なまえラベル」「用途別ラベル」を作るところまでを説明していますので、練習してみましょう。

各部のなまえ



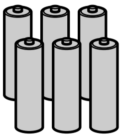




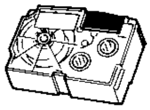
付属品を確認しましょう

ご使用になる前に、以下のような付属品がそろっているかどうかを確認してください。

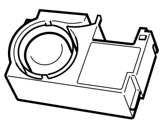
- 単3形アルカリ乾電池 6本



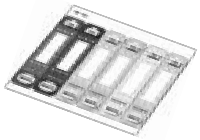
- テープカートリッジ 1個



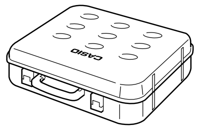
- 取扱説明書
- 保証書
- クラフトシール用カートリッジ 1個



- クラフトシール（1シート）



- 収納ケース



重要 本機を収納した状態で収納ケースを落下しますと、ケースが割れたり本機が故障したりするおそれがありますので、持ち運び等の際には注意してください。

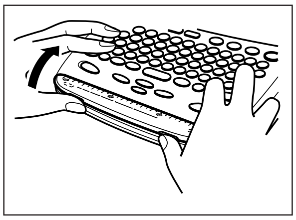
付属の定規を活用しましょう

貼りたいものの大きさに合ったラベルを作りたい―そんなときは、本機に付属の定規を使って、最適なテープ幅を選び、ラベルの長さを決めてから、ラベルを作成しましょう。

※定規はあくまでも目安であり、ラベル作成用にのみお使いください。

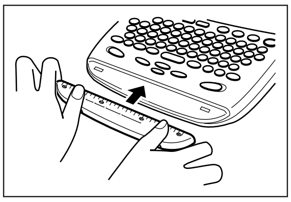
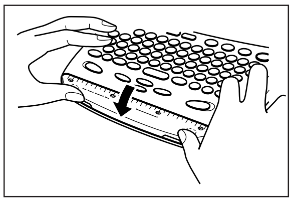
本機から定規を取り外すには

図のように両手でひきあげるようにして、定規を外します。



定規を本機にセットするには

図のように目盛り側を先に本体に差し込んでから、手前についているフックを上から指で押すようにしてはめ込みます。

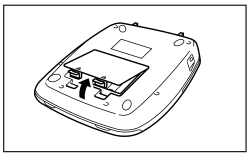

➜


乾電池をセットする

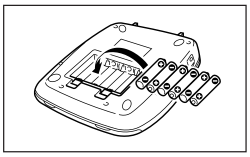
本機をはじめて使うときは、本機といっしょに入っていた乾電池をセットします。

重要 必ずアルカリ乾電池を使用してください。

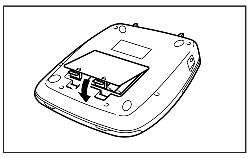
1 本機をうらにして、乾電池カバーをイラストのようにはずします。



2 乾電池をセットします。
⊕と⊖の向きに注意して、イラストのようにセットします。



3 乾電池カバーをはめます。



- 「電池残り少」と画面に表示されたときは新しい乾電池をセットしてください。

参照 「電池残り少」と画面に出たら（➜102ページ）

- 別売のアダプター（AD-A95100IJ）を利用すると、乾電池をセットしなくても、本機を使うことができます。

参照 別売のアダプターを使うには（➜103ページ）

⚠危険

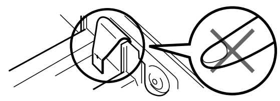
- アルカリ電池からもれたアルカリ液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
  1.目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
  2.ただちに医師の治療を受ける。
  そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠警告

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 分解しない、ショートさせない。
  - 加熱しない、火の中に投入しない。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しない。
  - 充電しない。
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる。

⚠注意

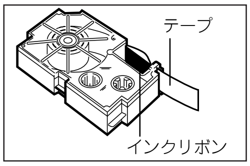
- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しない。
  - 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく。
- 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。



付属の電池は、工場出荷時より微少な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。

テープカートリッジをセットする

幅が3.5mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmのテープが使えます。
※使用できるテープの種類は、別売品一覧でご確認ください。（➜126ページ）

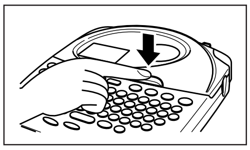


テープカートリッジをセットする

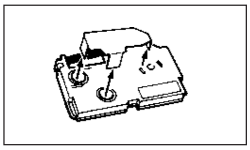
重要 テープカートリッジをセットするときは、電源を切っておきます。

1 ON/OFFを押して、電源を切ります。

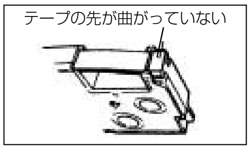
2 収納部開閉ボタンを押して、カバーを開けます。
収納部開閉ボタンは、カバーが開いた状態では押すことができません。



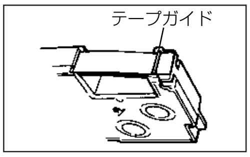
3 テープカートリッジについているストッパーをはずします。



4 テープの先が折れ曲がっていないことを確かめます。
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切ってください。

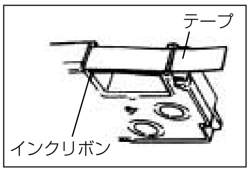


5 テープがテープガイドにきちんと通っているか確かめます。
テープガイドからはずれているときは、イラストのようにテープの先をテープガイドに通してください。



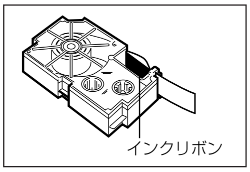
6 テープを約3cm引き出します。

重要
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。



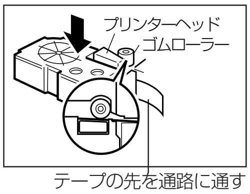
7 インクリボンがたるんでいないか、確認します。

重要 インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。



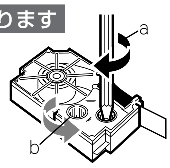
8 テープカートリッジをセットします。
テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように真上からおろします(右図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで下に押し込んでください。

重要 ななめに入れると、正しくセットされず、リボン切れの原因となります。



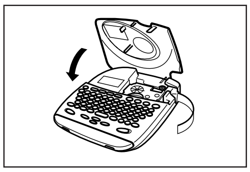
インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回りはじめるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。



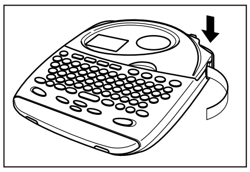
9 カバーを閉めます。

重要
- カチッと音がするまでしっかりとカバーを閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

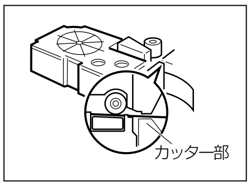


10 テープカッターを下に押して、余分なテープを切ります。

重要 テープをカットするときは、必ずカバーを閉じてください。カバーを開けたままテープをカットすることはできません。

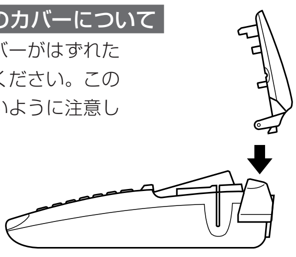


重要 カッターに触れないように注意してください。



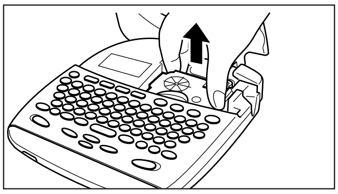
テープカートリッジ収納部のカバーについて

テープカートリッジ収納部のカバーがはずれた場合、図のように再セットしてください。このとき、カバーのツメを破損しないように注意してください。



テープカートリッジを取り出す

テープカートリッジの左上と右下に指を入れて、まっすぐ上に引き上げてください。



メモリーの初期化をする

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**(メモリーリセット)という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

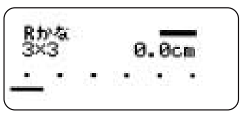
重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータがすべて消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 画面になにも文字がないことを確かめます。
なにか文字があるときはON/OFFを押します。

2 印刷と取消しをいっしょに押しながら、ON/OFFを押します。
その後、ON/OFFを離してから、印刷と取消しを離します。



3 初期化を実行するときは実行を押します。
初期化をしないときは、取消しを押します。



メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータはすべて消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

(ON/OFF)を押しても画面に文字があらわれないときは…
- 乾電池を正しくセットしましたか?(➜18ページ)
- 画面の明るさは正しく調整されていますか?(➜105ページ)

電源を入れたとき、こんな画面が表示されたら…



(ON/OFF) 以外のキーを押してください(どのキーでもかまいません)。「メモリー初期化　実行/取消し」と表示されますので、そのまま(実行)を押してください。

なまえラベルを作りましょう

はじめになまえラベルを作ってみましょう。本機になまえを登録して、呼び出すだけでかんたんにラベルが作れます。
ここでは、なまえを入力・登録するところから、印刷するところまでを説明します。

例

ふじわらのりこ

1 **(なまえ)を押します。**
この場所になまえを登録します。



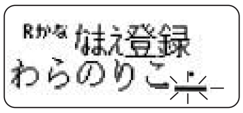
2 **(実行)を押します。**
なまえを登録する画面になります。



3 **(F は)(U な)(J ま)(I に)(W て)(A ち)(R す)(A ち)(N み)(O ら)(R す)(I に)(K の)(O ら)と押します。**



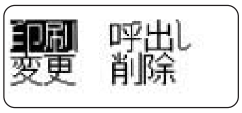
4 **(実行)を押します。**
入力した文字を確定します。
(確定➜32ページ)



5 **(実行)を押します。**
なまえが登録されました。

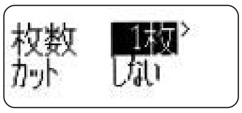


6 **(実行)を押します。**

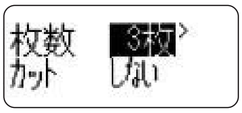


7 **(実行)を押します。**

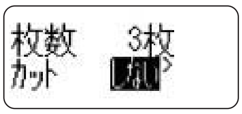
8 **(実行)を押します。**
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして(実行)を押します。



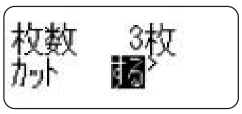
9 **(>)を2回押します。**
印刷する枚数を指定します。



10 **(∨)を押します。**



11 **(<)または(>)を押します。**
「カット　する」にすると、1枚印刷が終わるごとに「テープをカットし[実行]」というメッセージがあらわれます。



12 **(実行)を押します。**
画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
↓
テープの余分な部分をテープカッターを押してカットします。

13 **(実行)を押します。**
↓
印刷がはじまります。

用途別ラベルを作りましょう

ここでは、ビデオタイトルラベルの作りかたについて説明します。

例

2003年10月10日
たくやの運動会

1 **(定型フォーマット)を押します。**



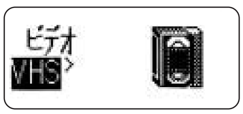
2 **用途別ラベルになっていることを確認して、(実行)を押します。**



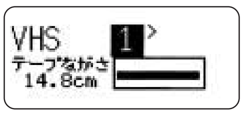
3 **新規作成になっていることを確認して、(実行)を押します。**



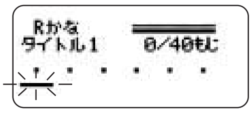
4 **ビデオになっていることを確認して、(実行)を押します。**



5 **VHSになっていることを確認して、(実行)を押します。**



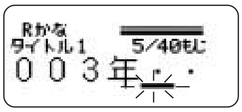
6 [>]を押して2にし、[実行]を押します。
ラベルのかたちを選びます。



7 [2ふ][0わ][0わ][3あ][Nみ][Eい][Nみ][Nみ]と押します。
タイトルを入れていきます。



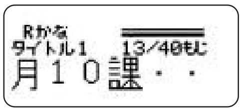
8 [変換][実行]と押します。



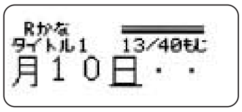
9 [1ぬ][0わ][Gき][Aち][Tか][Uな][1ぬ][0わ][Kの][Aち]と押します。



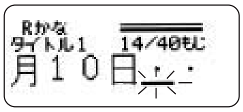
10 [変換][実行]と押します。



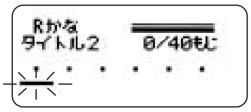
11 [変換]を3回押します。



12 [実行]を押します。



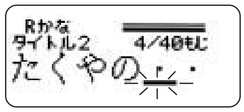
13 [実行]を押します。



14 [Tか][Aち][Kの][Uな][Yん][Aち][Nみ][Oら]と押します。



15 [無変換]または[実行]を押します。



16 [Uな][Nみ][Nみ][Dし][Oら][Uな][Kの][Aち][Iに]と押します。



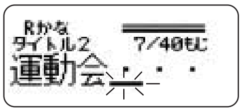
17 [変換][実行]と押します。



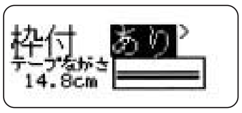
18 [変換]を2回押します。



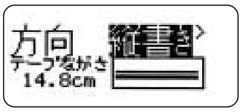
19 [実行]を押します。



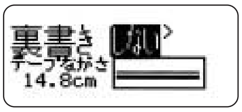
20 [実行]を押します。



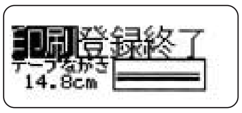
21 [>]を押して「枠付　なし」にし、[実行]を押します。



22 [<]を押して「方向　横書き」にし、[実行]を押します。



23 「裏書き　しない」になっていることを確認し、[実行]を押します。



24 [実行]を押します。



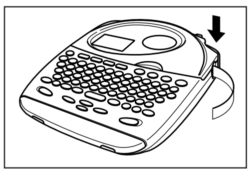
25 [実行]を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして[実行]を押します。
↓
画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
テープの余分な部分を、テープカッターを押してカットします。



26 [実行]を押します。



27 印刷が終わったら、テープカッターを押してテープをカットします。



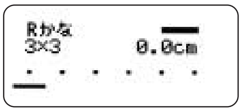
28 [>]を2回押して終了にし、[実行]を2回押して、操作を終了します。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは(ON/OFF)を押すだけで本機が使えます。

電源を入れるには…

(ON/OFF)を押します。



電源を切るには…

(ON/OFF)を押します。



どんなラベルが作れるのか、試してみましょう

本機で使えるいろいろな文字や書体で作ったラベルサンプルを印刷することができます。

① テープカートリッジがセットされていることを確認します。
② (ON/OFF)を押して電源を切り、再び(ON/OFF)を押して電源を入れます。
③ (印刷)を押します。
④ (実行)を押します。

デモ印刷中に、途中で数秒印刷が止まることがありますが、故障ではありません。

※テープの幅によって、印刷される内容は異なります。

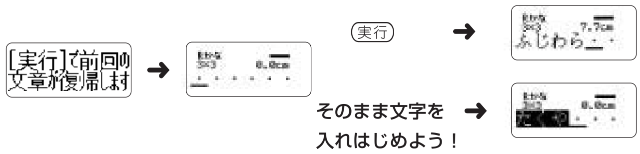
※ファンシーテープ・クラフトシールをセットしているときは、デモ印刷はできません。

前に作成した文章がそのまま使えます

前回、画面に文章を残したまま電源を切り、次に電源を入れると左下の画面になります。

前回の文章をそのまま使いたいときは、(実行)を押します。

使わないときは、そのまま新しい文章を作ります。



重要

フレームつきの文章を作成していた場合、電源を切ったときにフレームのデータは消えてしまいます。

電源を入れて(実行)を押したあと、もう一度フレームをつけなおしてください。

データの保持について

- 本機は、入力･登録した文章などのデータを内蔵メモリー保護用電池の働きで記憶しています。
  本機裏面のラベルに表示されている交換期間を経過すると、内蔵メモリー保護用電池が消耗して、入力・登録したデータが変化･消去されてしまいます。交換期間までに内蔵メモリー保護用電池の交換を、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。有料で交換いたします。
- 本機に登録しているデータ(文字や文章など)は、必ずノートなどに控えをとっておいてください。

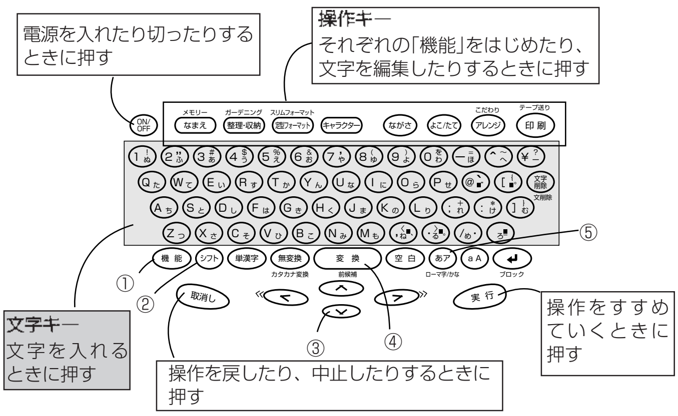
電源を切るのを忘れても安心

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。

ふたたび本機を使うときは、(ON/OFF)を押してください。

キーのはたらき

本機には、たくさんのボタンがついています。ボタンのことを、この取扱説明書では**キー**と呼んでいます。**ここではキーの主な使いかたについて説明します。**



①	キーの上(または下)に書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す ※ (機能)は、その後に押すキーと同時に押す仕様ではありません。(機能)を押したら、一度指を離してから、目的のキーを押してください。
②	• かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの拗音・促音を入れる場合に押す(➜33ページ) • アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す(➜37ページ) ※(シフト)は、その後に押すキーと同時に押す仕様ではありません。(シフト)を押したら、一度指を離してから、目的のキーを押してください。
③	• 文字が入る位置を示した＿や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す • 項目などを選択するときに押す(➜27ページ)
④	ひらがなを漢字などに変換するときに押す(➜34ページ)
⑤	文字キーに書かれているひらがな･カタカナ・アルファベット･数字･記号などを使い分けるときに押す(➜31ページ)

画面の見かた

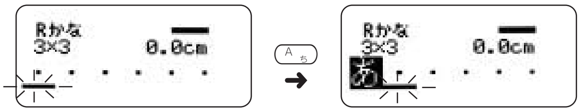
本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。



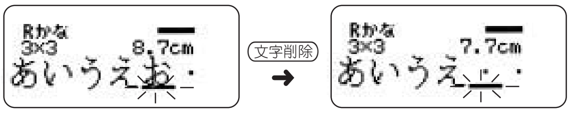
①	ローマ字入力になっていることを示す(➜28ページ) ※何も表示されていないときはかな入力になっています。
②	入れることのできる文字の種類を示す(➜32ページ)
③	文字体が何になっているかを示す(➜67ページ)
④	カーソルがあるブロックは何個目かを示す(➜65ページ)
⑤	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す
⑥	フレームがついたラベルが印刷できることを示す(➜74ページ)
⑦	書体(フォント)が何になっているかを示す(➜66ページ)
⑧	縦書きになっていることを示す(➜76ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す(➜78ページ)
⑩	余白が「送り無」になっていることを示す(➜83ページ) ※余白が「送り無」のときは、印刷の後にテープ送りをしてください。
⑪	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す

カーソルのはたらきと動かしかた

画面上で点滅している_を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。



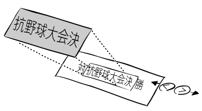
文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



(文字削除)を押すと、カーソルの位置にある文字が消えます。

画面からかくれてしまった文字を見るには

画面にかくれている文字を見るためには、(<)(>)を押してかくれている部分にカーソルを動かします。
これを**スクロール**といいます。
((<)(>)を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)



参考
- (機能)(<)と押すと、文章の初めにカーソルが移動します。
- (機能)(>)と押すと、文章の終わりにカーソルが移動します。
- (シフト)(<)と押すと、前のブロックマークまたは改行マークにカーソルが移動します。
- (シフト)(>)と押すと、次のブロックマークまたは改行マークにカーソルが移動します。

操作の進めかた

1 **使いたい機能が書かれているキー(ボタン)を押します。**
機能名が一覧で表示されます。
これをメニュー画面と呼びます。



(アレンジ)を押した場合

2 **(<)(>)のどれかを押し、目的の機能名に■を合わせます。**
■を合わせると、文字は白く抜かれて表示されます。■を合わせることにより、その機能を選んだことになります。



メニューによっては、画面の右に▲または▼が表示されます。これは、機能名(または項目)の続きがあることを示しています。(∧)または(∨)を何回か押すと、続きを表示させることができます。

3 **(実行)を押します。**
(実行)を押すことにより、操作を進めることができます。



4 **引き続き、(<)(>)のどれかを押し、目的の機能名(または項目)に■を合わせます。続いて(実行)を押します。**

ポイント
- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやりなおしたいときは(取消し)を押します。
- (取消し)を何回押しても希望の画面に戻らないときは、一度電源を切ります。再び電源を入れて、はじめから操作をやりなおしてください。

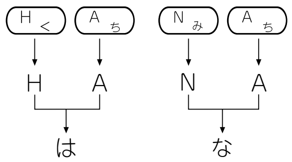
文字の入れかたを覚える

ラベルを作るには、まずどんな文字を使ってラベルにするのかを決めます。ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、記号…、いろいろな文字を自由に組み合わせて、思い思いのラベルを作りましょう。
ここでは文字を入れる流れを説明します。例題にそって、練習してみましょう。

練習の前に… **ローマ字入力?** それとも**かな入力?**

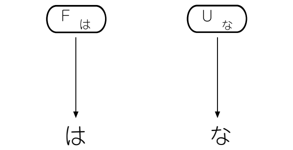
ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入れる方法です。



かな入力とは…

直接ひらがななどを入力する方法です。



本機では、はじめは「ローマ字入力」で文字を入れるようになっています。かな入力になれているかたは、「かな入力」で入れることもできます。

「かな入力」にしたいときは、次の2つの方法があります。

① (機能)を押してから、(あ ア ローマ字/かな)を押します。
もう一度(機能)を押してから(あ ア ローマ字/かな)を押すと、ローマ字入力になります。

② (機能)を押してから、(こだわり アレンジ)を押します。
(<)(>)を押して環境設定にし、(実行)を押します。
(<)(>)を押して入力設定にし、(実行)を押します。
(∧)(∨)(<)(>)を押してかなにし、(実行)を押します。

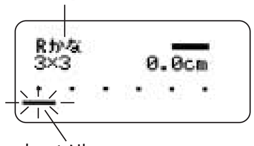
ローマ字入力とかな入力については31ページで詳しく説明しています。

練習しよう

例 日曜ドラマ　暴れん坊代官　PART2

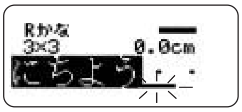
「日曜」(漢字)を入れる

1 **画面左上に「Rかな」が表示されていることを確かめます。**
この画面を「文字入力画面」といいます。



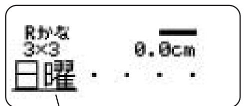
参考 「Rカナ」、「AB」または「ab」と表示されているときは(あ ア)を何回か押して「Rかな」にします。

2 **(N)(I)(T)(I)(Y)(O)(U)と押します。**



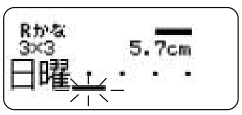
参考 かな入力のときは…
(I に)(A ち)(9 よ)(4 う)

3 **(変換)を押します。**
画面のにちようが「日曜」になったのを確かめてください。



参考 「日曜」にならないときは何度か(変換)を押してください。

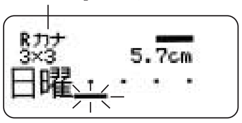
4 **(実行)を押します。**



「ドラマ」(カタカナ)を入れる

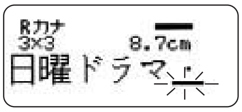
5 （あ ア）を押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

カタカナが入力できることを示します



参考 かな入力をしているときは、「カナ」になります。

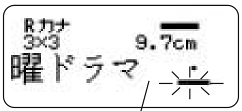
6 （D し）（O ら）（R す）（A ち）（M も）（A ち）と押します。



「ドラマ」が入力されたことを確認してください

参考 かな入力のときは…
（S と）（@ ゛）（O ら）（J ま）

7 （空白）を押します。

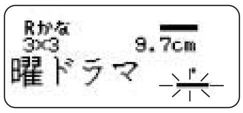


1字分、スペースが空きます

> **画面からかくれてしまった文字はどうなるの？**
>
> 画面に表示されるのは、1行に6文字です。そのため、あたらしく入れようとする文字がつねに表示されるように、画面が自動的に流れていきます。文字が消えてしまったように見えますが、本機がきちんと文字を覚えているので、心配ありません。
> （<）（>）を押すと、かくれた部分を見ることができます。
>
> **キーを間違えて押してしまったら…**
>
> - 文字が間違っていたら…41ページ
> - 文字が抜けていたら…42ページ
> - 文字を消したいときは…40ページ
> - はじめからやりなおしたいときは…43ページ

「暴れん坊代官」(かな漢字まじり文)を入れる

8 （あ ア）を押して、「Rかな」を表示させます。



参考 かな入力のときは、「かな」となります。

9 （A ち）（B こ）（A ち）（R す）（E い）（N み）（N み）（B こ）（O ら）（U な）（D し）（A ち）（I に）（K の）（A ち）（N み）（N み）と押します。



参考 かな入力のときは…
（3 #）（F は）（@ ゛）（; れ）（Y ん）（- ほ）
（@ ゛）（4 う）（Q た）（@ ゛）（E い）（T か）（Y ん）

10 （変換）を押します。



「暴れ」に下線がつきます

> **ひらがなが希望の漢字に変わらないときは…**
>
> 希望の漢字が表示されるまで、（変換）を何回か押してください。漢字に変換する方法については34ページで詳しく説明しています。
> なお、この練習は、メモリーの初期化(➜20ページ)をした直後の画面で説明しています。本機を何度か操作したあとでは、下線のつきかたや変換のしかたが違う場合があります。(学習機能➜36ページ)

11 「暴れ」になっていることを確認して、（実行）を押します。



「暴れ」の下線がとれ、「ん」に下線がつきます

12 「暴れん」になっていることを確認して、（実行）を押します。



残りの「ぼうだいかん」が「ぼうだい・かん」と認識されているため、このような漢字になります

13 （<）を押します。
「ぼうだい・かん」を「ぼう・だいかん」に区切るためです。

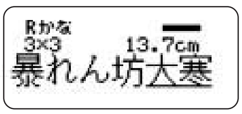


「ぼう」という読みに当てはまる漢字に変換されます

14 （変換）を何回か押して、「坊」にします。
（変換）を押すたびに「ぼう」に当てはまる漢字が次々と表示されます。



15 「坊」になっていることを確認し、（実行）を押します。



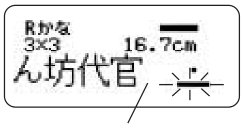
残りの「だいかん」に当てはまる漢字に変換されます

> **カーソルと下線の違い**
>
> カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して表示されます。
> ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「**現在、変換することができる部分**」を示した印です。

16 （変換）を押して「代官」にし、（実行）を押します。



17 （空白）を押します。

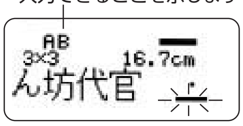


1文字分、スペースが空きます

「PART2」(数字・アルファベット)を入れます

18 （a A）を何回か押して、画面左上に「AB」を表示させます。

アルファベット(大文字)が入力できることを示します



19 （P せ）（A ち）（R す）（T か）（2 ふ）と押します。



参考 かな入力のときも同様に、
（P せ）（A ち）（R す）（T か）（2 ふ）と押します。

これで、「日曜ドラマ　暴れん坊代官　PART2」が入りました。
（<）（>）を押すと画面が左右に流れます。きちんと文字が入っているかどうか確認してください。

> **練習した文字をすべて消すときは…**
>
> ① （機能）（文字削除/文削除）と押します。
> ② 全文削除になっていることを確認し、（実行）を2回押します。
>
> 全文削除については、43ページを参照してください。

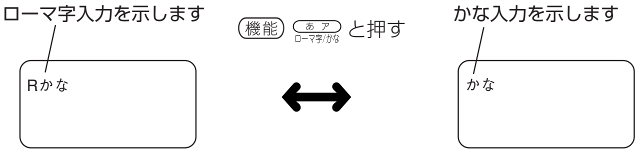
ローマ字入力？　それとも　かな入力？

文字を入れる方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- **ローマ字入力**…アルファベットを使ったローマ字よみで文字を入れる方法
- **かな入力**…直接ひらがなを入力して文字を入れる方法
  （文字キーの右下のひらがなのとおりに文字を入力します）

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をしたあとでは、ローマ字入力で文字を入れる状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える



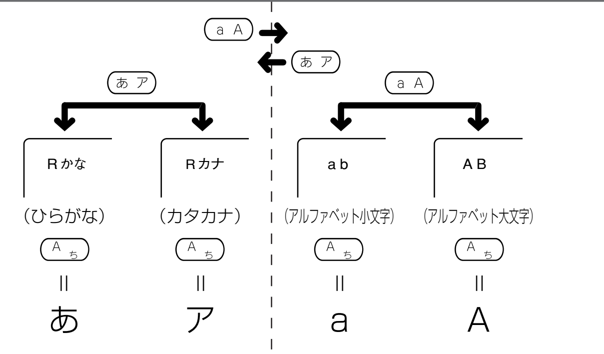
参考
- 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず(あ ア)を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。
- 「こだわり機能」の「環境設定」で切り替えることもできます。（➜28ページ）。

文字キーの使いかた

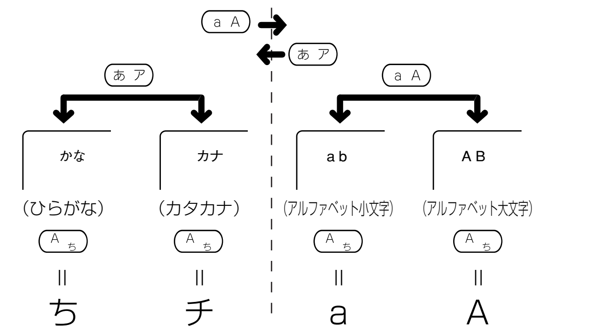
文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。(あ ア)や(a A)を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号が入力できるように、切り換えます。

ここでは(A ち)を例にとって、説明します。

ローマ字入力のとき



かな入力のとき



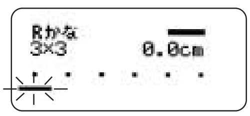
ひらがな・カタカナを入れる

キーを押して文字を画面にあらわすことを、入力といいます。
ここでは、ひらがなとカタカナの入力のしかたを説明します。

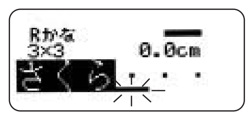
ひらがなを入れる

例　さくら

1 **(あ ア)を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。**



2 **(S と)(A ち)(K の)(U な)(R す)(A ち)と押します。**



ひらがなを入力している最中は、■が文字に重なっています

参考　かな入力のときは…
(X さ)(H く)(O ら)

3 **(無変換)または(実行)を押します。**

参考　「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

練習した文字をすべて消すときは…

① (機能)(文字削除 文削除)と押します。
② 全文削除になっていることを確認し、(実行)を2回押します。
全文削除については、43ページを参照してください。

カタカナを入れる

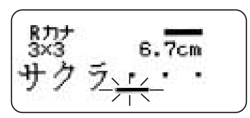
例　サクラ

1 **(あ ア)を押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。**



2 **(S と)(A ち)(K の)(U な)(R す)(A ち)と押します。**

カタカナを入力すると、そのまま確定されます。



参考　かな入力のときは…
(X さ)(H く)(O ら)

もうひとつのカタカナ入力

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する方法もあります。

例　サクラ

① ひらがなで「さくら」と入力します。
② さくらとなっているときに、(機能)(無変換 カタカナ変換)と押します。
さくらが「サクラ」に確定されます。

「カタカナ変換」とは、カタカナに変換して、そのまま確定するという意味です。

いろいろな文字の入れかた

ここでは、小さい「ゃ」「ヵ」、「。(句点)」「ヴ」などの入れかたについて説明しています。

小さい文字の入れかた

	ローマ字入力	かな入力
•ひらがな入力状態のときは、ひらがなが入ります。 •カタカナ入力状態のときは、カタカナが入ります。		
ぁ	[シフト][Aち]/[Xさ][Aち]	[シフト][3ぁ#]
ぃ	[シフト][Iに]/[Xさ][Iに]	[シフト][Eぃ]
ぅ	[シフト][Uな]/[Xさ][Uな]	[シフト][4ぅ$]
ぇ	[シフト][Eい]/[Xさ][Eい]	[シフト][5ぇ%]
ぉ	[シフト][Oら]/[Xさ][Oら]	[シフト][6ぉ&]
っ	[Xさ][Tか][Uな]	[シフト][Zっ]
ゃ	[Xさ][Yん][Aち]	[シフト][7ゃ']
ゅ	[Xさ][Yん][Uな]	[シフト][8ゅ(]
ょ	[Xさ][Yん][Oら]	[シフト][9ょ)]
•ひらがな入力状態のときも、カタカナ入力状態のときも、カタカナが入ります。 •ひらがなを入れることはできません。		
ヵ	[Xさ][Kの][Aち]	[シフト][Tか]
ヶ	[Xさ][Kの][Eい]	[シフト][:け*]

※ローマ字入力のときは、下記のようにして入れることもできます。

促音 例:いった➜ [Iに][Tか][Tか][Aち]
(子音を2回押します。)

拗音 例:きょう➜ [Kの][Yん][Oら][Uな]
(106ページ「ローマ字入力一覧」をご覧ください。)

濁音・半濁音の入れかた

		ローマ字入力	かな入力
濁音	ぼく	[Bこ][Oら][Kの][Uな]	[ーほ=][@゛`][Hく]
半濁音	ぱぱ	[Pせ][Aち][Pせ][Aち]	[Fは][[゜][Fは][[゜]

句読点や、「を」「ん」、空白などの入れかた

		ローマ字入力	かな入力
句点	。	[.>る]	[シフト][.>る]
読点	、	[,<ね]	[シフト][,<ね]
長音	ー	[¥?]	[¥?]
中点	・	[シフト][/め・]	[シフト][/め・]
を		[Wて][Oら]	[シフト][0わを]
ん		[Nみ][Nみ]	[Yん]
空白		[空白]	[空白]

「ヴ」などの入れかた

重要 カタカナ入力状態のときに入れることができます。
ひらがな入力状態では、入れることができません。

参照 カタカナを入れる(➜32ページ)

	ローマ字入力	かな入力
ヴァ	[Vひ][Aち]	[4う$][@゛`][シフト][3ぁ#]
ヴィ	[Vひ][Iに]	[4う$][@゛`][シフト][Eぃ]
ヴ	[Vひ][Uな]	[4う$][@゛`]
ヴェ	[Vひ][Eい]	[4う$][@゛`][シフト][5ぇ%]
ヴォ	[Vひ][Oら]	[4う$][@゛`][シフト][6ぉ&]

漢字を入れる

漢字を入れるには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します。例えば、「花」は「はな」と読むので「はな」とひらがなで入力します。
ひらがなから漢字に変えることを変換といいます。使いたい漢字が表示されたら、[実行]を押して、ほかの文字に変わらないように確定します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- **熟語を一度に変換する**
  ①文章を入力してから変換する
  ②同音異義語を変換する(例:公園、後援など)
- **漢字1文字分ずつ変換する(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)**

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

例 今日行きます

1 **「きょういきます」をひらがなで入力します。**

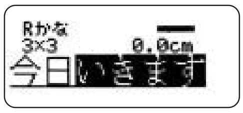


2 **[変換]を押します。**
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



「境域」に下線がついています

3 **[<]を2回押します。**
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。



「きょう」が「今日」に変換されます

4 **[実行]を押します。**
「今日」が確定されます。



「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「壱岐」に変換されます

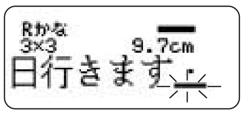
5 **[>]を2回押します。**
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



6 **[変換]を何回か押して、「行きます」にします。**
[変換]を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



7 **「行きます」が表示されたら、[実行]を押します。**
「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

参考 下線がついているときに[取消し]を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

例 きょう →([変換]) 今日 →([取消し]) きょう

同音異義語を変換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」（同音異義語）を変換する方法を説明します。

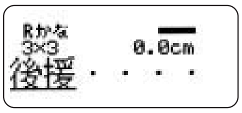
例 公園

1 「こうえん」をひらがなで入力します。



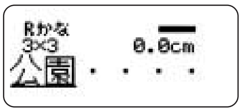
2 (変換)を押します。

「こうえん」に当てはまる漢字の候補が表示されます。



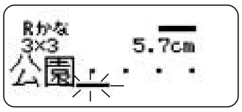
3 (変換)を何回か押して、「公園」にします。

(変換)を押すたびに、「こうえん」に当てはまる漢字が次々と表示されます。



4 「公園」になったら、(実行)を押します。

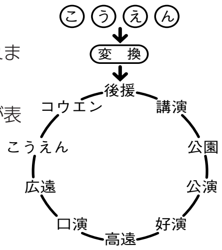
「公園」が確定されます。



変換のルール

(変換)または(∨)を押すと、次の漢字が表示されます。

(機能)(変換 前候補)または(∧)を押すと、1つ前の漢字が表示されます。

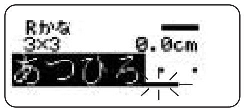


漢字1文字ずつ変換する（単漢字変換）

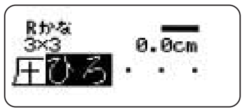
当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1字ずつ目的の漢字に変換します。

例 敦廣（あつひろ）

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



2 (変換)を何回か押します。



何回押しても、「敦」に変換されません

3 (単漢字)を押します。



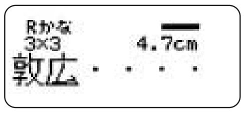
「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 (∧)(∨)(<)(>)を押して、敦にします。



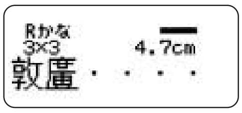
5 (実行)を押します。

「敦」が確定されます。



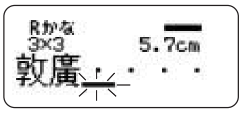
「広」に下線がつきます

6 (変換)を押して、廣にします。



7 (実行)を押します。

「廣」が確定されます。



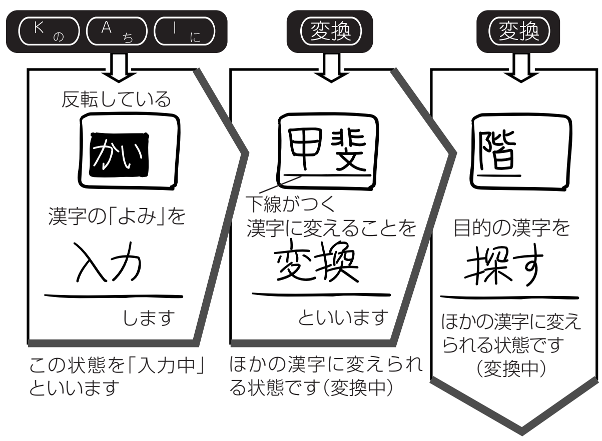
思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「販促（はんそく）」「英検（えいけん）」など、略語の読みを入力している

拗音・促音、「ず」と「づ」、「じ」と「ぢ」、「お」と「う」の入力には特に注意してください。

まとめ…





本機は学習しています

「かい」という読みを「階」で確定したとします。次回「かい」という読みで変換すると、「階」が一番はじめに表示されます。

これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。

このように、前回使った漢字を最初に表示することを学習機能といいます。

アルファベットや数字を入れる

アルファベット、数字の入れかたを説明します。

アルファベットの大文字を入れる

例　AKI

1 (a A)を押して、画面左上に「AB」を表示させます。



2 (A ち)(K の)(I に)と押します。

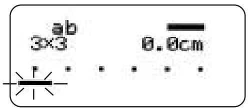
アルファベットは、キーを押したと同時にその文字に確定されます。

参考　ひらがなを入力するときは、(あ ア)を何回か押して、画面左上に「Rかな」(または「かな」)を表示させます。

アルファベットの小文字を入れる

例　a

1 (a A)を押して、画面左上に「ab」を表示させます。



2 (A ち)と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



参考　ひらがなを入力するときは、(あ ア)を何回か押して、画面左上に「Rかな」(または「かな」)を表示させます。

,(カンマ) .(ピリオド)を入れるには

(a A)を押して、画面左上に「AB」または「ab」を表示させます。
この状態で次のキーを押します。
カンマ：(、<ね ,)　ピリオド：(。>る .)

大文字と小文字がまざった文章を簡単に入れるには

「AB」表示のとき　(シフト)を押してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。
「a b」表示のとき　(シフト)を押してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

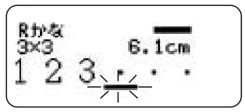
数字を入れる

例　1 2 3

ローマ字入力のとき

1 (1 ぬ !)(2 ふ ")(3 あ #)と押します。

数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。

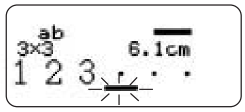


かな入力のとき

1 (a A)を押して、画面左上に「AB」または「ab」を表示させます。



2 (1 ぬ !)(2 ふ ")(3 あ #)と押します。



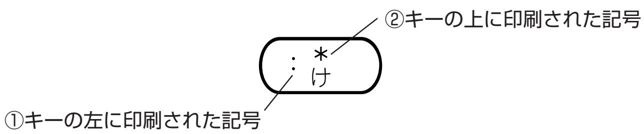
参考　ひらがなを入力するときは、(あ ア)を何回か押して、画面左上に「Rかな」(または「かな」)を表示させます。

3章　アルファベットや数字を入れる

記号を入れる

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに記されている記号



① アルファベットが入力できる状態のときに入力できる
ローマ字入力のとき　(: け *)→「：」
かな入力のとき　(a A)を押して画面左上に「AB」または[ab」を表示させ、(: け *)→「：」

② アルファベットが入力できる状態のときに、(シフト)を押したあとキーを押すと入力できる
ローマ字入力のとき　(シフト)(: け *)→「＊」
かな入力のとき　(a A)を押して画面左上に「AB」または[ab」を表示させ、(シフト)(: け *)→「＊」

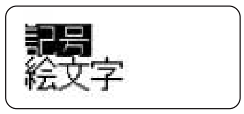
その他の記号

?『』☞ Ⅵ ♡ ㎡ ♪ など

記号は「点など」「かっこ」「矢印」「数字」「丸など」「単位」「省略」「数学」「ギリシア」「ロシア」の10種類のグループに分かれています。108ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

例　♡　(グループ＝丸など)

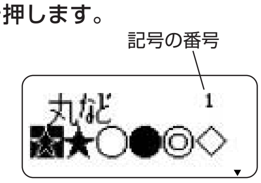
1 (キャラクター)を押します。



2 (∧)(∨)を押して**記号**にし、(実行)を押します。

3 (∧)(∨)(<)(>)を押して**丸など**にし、(実行)を押します。

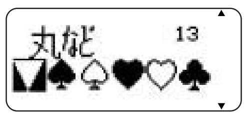
グループ名を選びます。



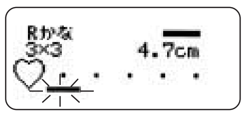
参考　画面には6グループしか表示されていません。かくれているグループを表示させるには、(∧)(∨)を押します。

4 (∧)(∨)を何回か押して「♡」を探します。

記号を探します。



5 (<)(>)を何回か押して♡にし、(実行)を押します。



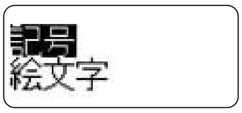
3章　記号を入れる

絵文字を入れる

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は「ペット」「ともだち」「しゅみ」「いきもの」「よてい」「たべもの」「はんこ」「おもしろ」の8つのグループに分かれています。
108ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

例 （グループ＝たべもの）

1 (キャラクター)と押します。

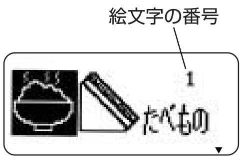


2 (∧)(∨)を押して**絵文字**にし、(実行)を押します。

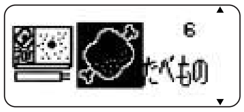
3 (∧)(∨)(<)(>)を押して**たべもの**にします。
グループ名を選びます。

参考 画面には6グループしか表示されていません。かくれているグループを表示させるには、(∧)(∨)を押します。

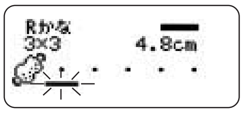
4 (実行)を押します。



5 (∧)(∨)(<)(>)を押して「」を探します。
絵文字を探します。



6 (実行)を押します。



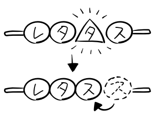
3 章 絵文字を入れる

文字を間違えたときは

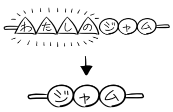
文字を間違えて入力したときのなおしかたを説明します。

●間違った文字を消す

1文字ずつ消す

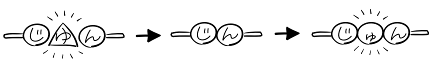


ある部分をまとめて消す

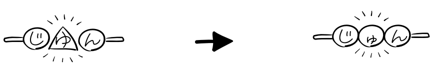


●間違った文字をなおす

間違った文字を消して正しい文字を入力する（挿入）

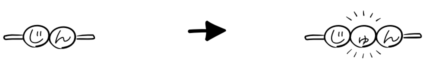


間違った文字の上に正しい文字を入力する（上書き）



●文字がぬけていたら

正しい文字を追加する

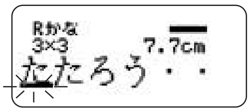


間違った文字を消す

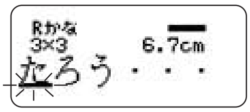
文字を1文字ずつ消す（カーソルの上の文字を消す）

例 「たたろう」の「た」を消して「たろう」になおす

1 (<)(>)を何回か押して、「た」にカーソルを合わせます。
消したい文字にカーソルを合わせます。



2 (文字削除)を押します。
「たろう」になります。



参考 つづけて文字を入力するときは、(機能)(>)と押して、文章の終わりまでカーソルを移動させます。

確定前に文字を消すには…

たたろうなど、文字に▇▇▇が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、(文字削除)を押して消します。
また、(取消し)を押すと、▇▇▇が重なっている文字がぜんぶ消えます。
（確定➔36ページ）

3 章 文字を間違えたときは

ある部分をまとめて消すには

消したい部分のはじめと終わりを指定して、消す方法です。

例 「あおきおさむ」を「おさむ」にする

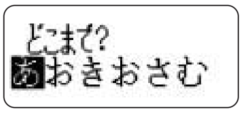
1 [機能][文字削除/文削除]と押します。



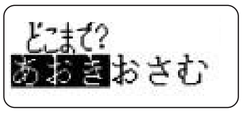
2 [∧][∨]を押して**部分削除**にし、[実行]を押します。
操作をやめるときは[取消し]を押します。



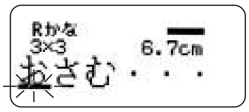
3 [<][>]を押して「あ」にカーソルを合わせ、[実行]を押します。
消したい部分のはじめを指定します。



4 [<][>]を押して**あおき**にします。
終わりを指定します。



5 [実行]を押します。

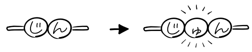


間違った文字をなおす

間違った文字をなおす方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿　入

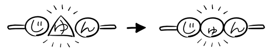
文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。



間違った文字を消してから正しい文字を入力します(その逆でも可)。

上書き

画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。



間違った文字の上に正しい文字を入力します。

本機は、前回使っていたときの状態を保持しています。

「上書き」にするとき

1 [機能][こだわり/アレンジ]と押します。

2 [<][>]を何回か押して**環境設定**にし、[実行]を押します。



3 [<][>]を押して**入力設定**にし、[実行]を押します。

4 [<][>]を押して**上書き**にし、[実行]を押します。

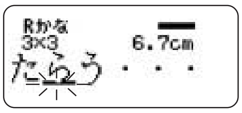
参考 [シフト][あ ア]と押して「挿入」と「上書き」を切り換えることもできます。「上書き」にすると、画面左上の「かな」が反転します。

重要 「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違って必要な文字を入れ替えることのないように、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

例 「たらう」を「たろう」になおす

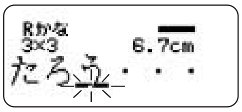
間違った文字を消して正しい文字を入れる(「挿入」状態)

1 [<][>]を押して「ら」にカーソルを合わせます。
なおす文字にカーソルを合わせます。



2 [文字削除]を押します。
「ら」が削除され、「う」がつまります。

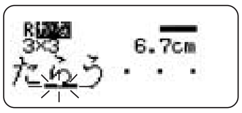
3 「ろ」を入力し、[実行]または[無変換]を押します(確定します)。



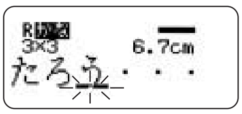
「ろ」が「う」の前に入ります

間違った文字の上に正しい文字を入れる(「上書き」状態)

1 [<][>]を押して「ら」にカーソルを合わせます。
なおす文字にカーソルを合わせます。



2 「ろ」を入力し、[無変換]を押します(確定します)。



「ら」が「ろ」になります

重要 「上書き」で文字をなおすときは、なおす文字数に注意してください。なおす文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

確定前に文字をなおすには…

たらうなど、文字に■■■が重なっているとき(確定前)に文字をなおすときも上と同じ操作でなおします。 (確定➔36ページ)

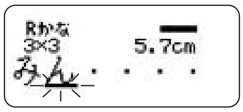
文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。

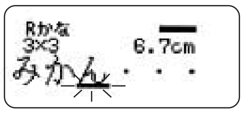
参照 挿入(➔41ページ)

例 「みん」を「みかん」にする

1 [<][>]を押して、「ん」にカーソルを合わせます。
「ん」の前に文字を入れるためです。



2 「か」を入力し、[無変換]を押します(確定します)。



「ん」の前に「か」が入り、「みかん」になります

確定前に文字を追加するには…

みんなど、文字に■■が重なっているとき(確定前)に文字を追加するときも、上の操作と同じ方法で追加します。 (確定➔36ページ)

すべての文字を消すには

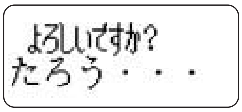
画面に表示されている文字を、画面から消します。

1 [機能][文字削除 文削除]と押します。



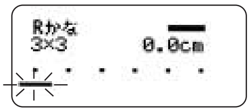
2 全文削除になっていることを確認します。

3 [実行]を押します。



参考 操作を中止するときは、[取消し]を押します。

4 [実行]を押します。



画面にあった文字はすべて消えます

持ち物に貼るラベルや用途別ラベルを作ってみましょう

本機にあらかじめ入っている文字やフォーマットを使えば、目的にあわせていろいろなラベルが簡単に作れます。

なまえラベル（➜46ページ）

「なまえラベル機能」では、はじめになまえを登録しておけば、すぐに呼び出して印刷することができます。
また、登録しておいたなまえと他の文字を組み合わせて、印刷することもできます。

ふじわらゆりか たくや	ふじわらゆりかのおもちゃ箱 たくやのおもちゃ箱

整理・収納ラベル（➜50ページ）

身の回りのものには、「整理・収納ラベル」を貼って整理してみましょう。あらかじめ印刷内容が登録されているので、あとは呼び出して印刷するだけです。

消しゴム	タオル類	Tシャツ

ガーデニングラベル（➜51ページ）

花や観葉植物やハーブのなまえがいろいろ登録されています。花のタネの整理や、プランターにさす植物の名札などに「ガーデニングラベル」が大活躍！

ベンジャミン	Benjamin	ベンジャミン Benjamin
（カタカナ名）	（英名）	（カタカナ名＋英名）

用途別ラベル（➜54ページ）

●用途にあわせて4タイプ51種類のラベルが手軽に作れます。

ビデオタイトル



ファイルタイトル



オーディオタイトル



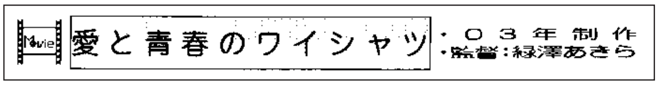
名前ラベル



●用途別ラベルには、つぎの2つの作りかたがあります。

フォーマットを使う（➜54ページ）

フォーマットを選んで、画面に表示されるメッセージに従って文字を入力していきます。



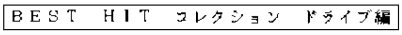
サンプルを使う（➜56ページ）

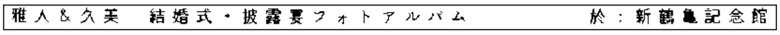
実際の印刷サンプルの中から使いたいサンプルを呼び出して、必要なところだけ変更して印刷することができますので、本機をはじめてお使いになるかたでも簡単にタイトルラベルが作れます。



スリムフォーマットラベル（➜59ページ）

MDやCD-Rの背ラベルのような幅の狭いところに貼るラベルを作ることができます。
（使用できるテープカートリッジは、3.5mm幅のものだけです。）





なまえラベルを作る

本機になまえを登録して、呼び出して印刷したり他の文字と組み合わせて印刷することができます。
なまえは5件まで登録することができます。

なまえを登録して手軽に印刷する

(なまえ)を押して自分のなまえや家族のなまえを登録しておけば、すぐに呼び出して印刷することができます。
操作のしかたは、21ページ～22ページで説明しています。

例 ふじわらのりこ



全員のなまえをつづけて印刷する

なまえを5人まで登録しておけば、全員のなまえを一度につづけて印刷することができます。

例 ふじわらのりこ ふじわらゆりか たくや 市川エミ 徳川ジュン

1 (なまえ)を押します。



2 (∧)(∨)を押して、「スペシャル印刷」を表示させます。



3 (実行)を押します。

4 (∧)(∨)を押して全員印刷にし、(実行)を押します。



5 (実行)を押します。



6 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして(実行)を押します。（印刷イメージを見る➜85ページ）
↓
印刷がはじまります。
↓
印刷が終わったら、テープカッターを押してテープをカットし、ハサミなどで1人分ずつカットしてください。

7 (取消し)を2回押します。

8 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、(実行)を押します。

参考 操作を終わらないときは(取消し)を押します。

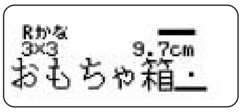
他の文字と組み合わせて印刷する

文字入力画面に文字が入力されていれば、登録してあるなまえを呼び出して一緒に印刷することができます。

重要
- 登録されているなまえがすべて印刷されます。
- なまえと他の文字の合計が、127文字を超えると印刷できません。
- [なまえ]を押すと、入力してあった文の文字かざりが取り消されます。

例 ふじわらゆりかのおもちゃ箱 たくやのおもちゃ箱

1 文字入力画面で文字を入力・確定します。

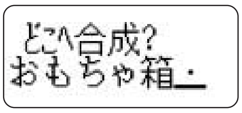


2 [なまえ]を押します。

3 [∧][∨]を押して「スペシャル印刷」を表示させます。

4 [実行]を押します。

5 [∧][∨]を押して合成印刷にし、[実行]を押します。



6 [<][>]を押してカーソルを「の」にあわせます。
カーソルをあわせた文字の前に、なまえが合成されます。

7 [実行]を押します。



8 [実行]を押します。

9 印刷になっていることを確認して、[実行]を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして[実行]を押します。(印刷イメージを見る➜85ページ)

↓

印刷がはじまります。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押してテープをカットし、ハサミなどで1人分ずつカットしてください。

10 [取消し]を2回押します。

11 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、[実行]を押します。

参考 操作を終わらないときは[取消し]を押します。

文字入力画面になまえを呼び出す

登録したなまえを文字入力画面に呼び出すことができます。

1 [なまえ]を押します。



2 [∧][∨]を何回か押して呼び出したいなまえを選んで、[実行]を押します。

3 [<][>]を押して呼出しにし、[実行]を押します。

参考 呼び出しの操作を始める前に画面になにも文字がなかったときは、画面に選んだなまえが呼び出されて、ここで操作が終わります。

4 [∧][∨]を押して新規呼出しにします。

参考
新規呼出し：呼び出しの操作を始める前に画面にあった文章をすべて消して、なまえを呼び出すとき
合成呼出し：呼び出しの操作を始める前に画面にあった文章を消さずに、追加してなまえを呼び出すとき

5 [実行]を押します。
なまえが呼び出されます。

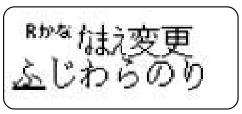
参考 手順4で「合成呼出し」を選んだときは、このあと「どこへ合成？」と表示されます。呼び出したい位置にカーソルを合わせ[実行]を押してください。カーソルを合わせた文字の前に呼び出されます。

なまえを変更する

1 [なまえ]を押します。

2 [∧][∨]を何回か押して変更するなまえを選んで、[実行]を押します。

3 [∧][∨][<][>]を押して変更にし、[実行]を押します。



4 なまえを変更します。

5 終わったら、[実行]を押します。

登録したなまえを消す

1 [なまえ]を押します。

2 [∧][∨]を何回か押して削除するなまえを選んで、[実行]を押します。

3 [∧][∨][<][>]を押して削除にし、[実行]を押します。

4 「よろしいですか？」と表示されますので、[実行]を押します。

5 なまえラベルの操作を終了するときは、[取消し][実行]と押します。

こんな作りかたもあります

用途別ラベル(定型フォーマット)で作ります。
印刷サンプルをもとにして作る方法と、フォーマットを利用して作る方法があります。

(定型フォーマット)を押して、操作を始めます。

●印刷サンプルをもとに作る

あらかじめ用意された印刷サンプルの中から使いたいサンプルを呼び出して、必要なところだけを変更して印刷することができます。

①「用途別ラベル」を選びます。

②「サンプルから作成」を選びます。

③ お好みのサンプルを番号で選びます。
120ページのサンプル一覧から、使いたいサンプルを選びます。

④必要なところだけをかえていきます。

●フォーマットを利用して作る

あらかじめ用意されたフォーマットの中から使いたいフォーマットを呼び出して、学年・組・なまえなどを画面に従って入力していくだけで、かんたんになまえラベルが作れます。

①「用途別ラベル」を選びます。

②「新規作成」を選びます。

③「名前」を選びます。

④ お好みのフォーマットを番号で選びます。

⑤ 画面に従って文字を入力していきます。

「用途別ラベル」の詳しい説明は、54ページ～58ページでしています。

整理・収納ラベルを作る

身の回りのものには、「整理・収納ラベル」を貼って、整理整頓しましょう。

操作早分かり

1 テープカートリッジをセットする

2 (整理・収納)を押す

3 印刷したい項目を選ぶ(画面に従って選んでいくだけ)

4 印刷する

印刷する

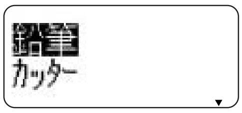
例 消しゴム

1 (整理・収納)を押します。



参考 画面に入力した文字があるときは「**入力中の文章が失われます**」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま(実行)を押します。消したくない場合は、(取消し)を押してから、その文章を登録します。(➜93～96ページ)

2 (＜)(＞)を押して文具にし、(実行)を押します。



3 (∧)(∨)を押して消しゴムにし、(実行)を押します。



4 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。



5 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして(実行)を押します。(印刷イメージを見る➜85ページ)
↓
印刷がはじまります。
↓
印刷が終わったらテープカッターを押してテープをカットします。

6 (＜)(＞)を押して終了にし、(実行)を押します。

7 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、(実行)を押します。

参考 操作を終わらないときは(取消し)を押します。

文字入力画面に項目を呼び出す

整理・収納ラベルの項目を文字入力画面に呼び出すことができます。

1 （整理・収納）を押します。

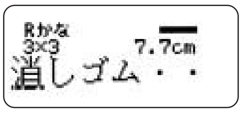


2 （＜）（＞）を何回か押して呼び出したいラベルのある分類を選んで、（実行）を押します。

3 （∧）（∨）を押して呼び出したいラベルの内容を選んで、（実行）を押します。

4 （＜）（＞）を押して**呼出**にし、（実行）を押します。

選んだ項目が文字入力画面に呼び出されます。必要に応じて、修正したり印刷したりします。



ガーデニングラベルを作る

花や観葉植物やハーブのなまえがいろいろ登録されています。「ガーデニングラベル」は、カタカナ名表記、英名表記、カタカナ名＋英名表記の中からお好みのスタイルを選ぶことができます。

重要

- 次のようなところにラベルを貼ると、剥がれる場合があります。
  - ・雨があたるところ
  - ・植木鉢などで表面がざらざらしているところ
  - ・土やほこりなどがついているところ
- 水やりを行うときは、ラベルに直接、水がかからないようにしてください。
- 直射日光のあたるところでは、ラベルの色が落ちたり、印刷された文字が薄くなる場合があります。
- 植物のカタカナおよび英名は、一般的に使われている名称の一例を載せています。また、花・観葉植物・ハーブの分類は便宜的に分けたものです。

操作早分かり

1 テープカートリッジをセットする

2 （機能）（ガーデニング／整理・収納）と押す

3 印刷したい項目を選ぶ（画面に従って選んでいくだけ）

4 印刷する

印刷する

例 **ポインセチア**（カタカナ名のみ）

1 （機能）（ガーデニング／整理・収納）と押します。

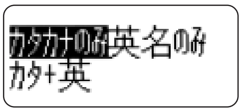


参考　画面に入力した文章があるときは「**入力中の文章が失われます**」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま（実行）を押します。消したくない場合は、（取消し）を押してから、その文章を登録します。（➜93〜96ページ）

2 （＜）（＞）を押して**花(ナ〜ワ)**にし、（実行）を押します。



3 （∧）（∨）を押して「ポインセチア Christmas f...」を選び、（実行）を押します。



4 （∧）（∨）（＜）（＞）を押して**カタカナのみ**にし、（実行）を押します。



参考

- 英名のみで印刷したいときは**英名のみ**にします。
- カタカナと英名の併記で印刷したいときは**カタ＋英**にします。この場合、2行で印刷されます。3.5mm幅テープでは印刷できません。また、フレームをつけると、テープ幅によっては印刷できません。

5 **印刷**になっていることを確認して、（実行）を押します。



6 **印刷**になっていることを確認して、（実行）を押します。

どのように印刷されるかを見たいときは、**イメージ表示**にして（実行）を押します。（印刷イメージを見る➜85ページ）

↓

印刷がはじまります。

↓

印刷が終わったらテープカッターを押してテープをカットします。

7 （＜）（＞）を押して**終了**にし、（実行）を押します。

8 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、（実行）を押します。

参考　操作を終わらないときは（取消し）を押します。

文字入力画面に項目を呼び出す

ガーデニングラベルの項目を文字入力画面に呼び出すことができます。

1 (機能)(ガーデニング 整理・収納)と押します。



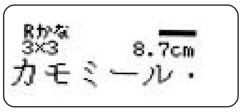
2 (<)(>)を何回か押して呼び出したいラベルのある分類を選んで、(実行)を押します。

3 (∧)(∨)を押して呼び出したいラベルの内容を選んで、(実行)を押します。

4 (∧)(∨)(<)(>)を押して表記の種類を選んで、(実行)を押します。

5 (<)(>)を押して呼出にし、(実行)を押します。

選んだ項目が文字入力画面に呼び出されます。必要に応じて、修正したり印刷したりします。



用途別ラベルを作る

操作早分かり

1 テープカートリッジをセットする
2 (定型フォーマット)を押す
3 用途別ラベルを選ぶ

4 新規作成を選ぶ(➜54ページ)
5 用途別ラベルのフォーマットを選ぶ
- フォーマットを118ページから選びましょう。
  あとは、「用途」「規格」「番号」を画面に従って選んでいきます。

6 画面に従って、文字を入力する

4 サンプルから作成を選ぶ(➜56ページ)
5 用途別ラベルのサンプルを選ぶ
- 120ページのサンプル一覧から、作りたい用途別ラベルに近いサンプルを選びます。

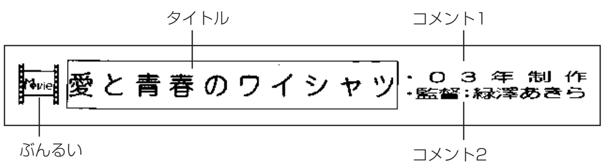
6 必要なところだけ、文字を変更する

7 印刷する
8 必要に応じて本機に登録する

ビデオタイトルを作る

フォーマットを使って作る

例



(ビデオ/VHS/番号3)

フォーマットを呼び出す

1 (定型フォーマット)を押します。



参考 画面に入力した文章があるときは「**入力中の文章が失われます**」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま(実行)を押します。消したくない場合は、(取消し)を押してから、その文章を登録します。(➜93~96ページ)

2 (<)(>)を押して用途別ラベルにし、(実行)を押します。

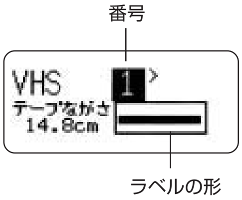
3 (<)(>)を押して新規作成にし、(実行)を押します。



4 <>を押してビデオにし、実行を押します。
（用途を選びます。）

参考
- オーディオタイトルを作るときはオーディオにします。
- 名前ラベルを作るときは名前にします。
- ファイルタイトルを作るときは、ファイルにします。

5 VHSになっていることを確認し、実行を押します。
（規格を選びます。）

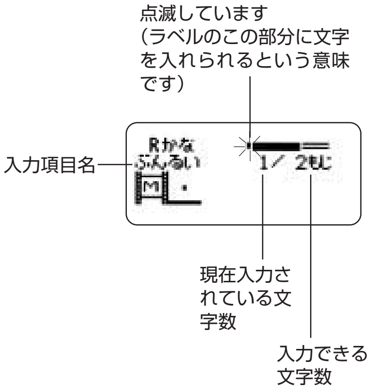


6 <>を押して3にします。
（番号を選びます。）

文字を入れる

タイトル・コメントなどの項目ごとに文字を入れていきます。

7 実行を押します。



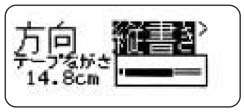
8 画面の絵文字を確認して、実行を押します。
（タイトルの頭につく絵文字です。）

参考 ほかの絵文字に変えることもできます。画面にある絵文字を文字削除で消し、キャラクターを押して好きな絵文字を入れてください。（絵文字➜39ページ）また、文字や記号を入れることもできます。

9 タイトルになる文字を入れ、実行を押します。

10 コメント1になる文字を入れ、実行を押します。

11 コメント2になる文字を入れ、実行を押します。



いろいろな文字にしたい！

文字を入れているときに、次の指定ができます。
- 書体（フォント）を変えることができます。（➜66ページ）
- 文字体（太字・白抜・影付・立体）を変えることができます。（➜67ページ）

印刷するときのルールを選ぶ➜印刷する

12 <>を押して「方向　横書き」にし、実行を押します。
（印刷するときの方向を選びます。）
縦書きにするときは縦書きにします。

参照 縦書き（➜76ページ）

13 「裏書き　しない」になっていることを確認し、実行を押します。
裏書きにするときは、<>を押して「裏書き　する」にします。

参照 裏書き（➜78ページ）

14 印刷になっていることを確認して、実行を押します。



15 印刷になっていることを確認して、実行を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして実行を押します。
（印刷イメージを見る➜85ページ）

↓

画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
テープの余分な部分をテープカッターを押してカットします。

16 実行を押します。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押して、テープをカットします。

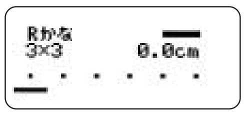
参照 ラベルを貼る（➜86ページ）

17 <>を押して終了にし、実行を押します。

参考 ラベルの内容を本機の中に残しておくときは登録にします。

参照 ラベルを登録する（➜93ページ）

18 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、実行を押します。



参考 操作を終わらないときは取消しを押します。

サンプルの内容を修正しながら作る

例



↓



サンプルを呼び出す

1 (定型フォーマット)を押します。



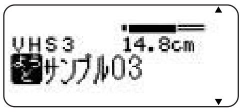
参考 画面に入力した文章があるときは「入力中の文章が失われます」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま(実行)を押します。消したくない場合は、(取消し)を押してから、その文章を登録します。(➜93〜96ページ)

2 (<)(>)を押して用途別ラベルにし、(実行)を押します。

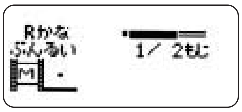
3 (<)(>)を押してサンプルから作成にし、(実行)を押します。



4 (∧)(∨)を押して、使いたいサンプルを選びます。
「用途別ラベルサンプル一覧」(➜120ページ)からサンプルを選び、サンプルNo.を確認します。



5 (実行)を押します。



6 画面の絵文字を確認して、(実行)を押します。
(タイトルの頭につく絵文字です。)



参考 ほかの絵文字に変えることもできます。画面にある絵文字を(文字削除)で消し、(キャラクター)を押して好きな絵文字を入れてください。(絵文字➜39ページ)また、文字や記号を入れることもできます。

タイトルを修正する

7 変更したい文字を削除します。

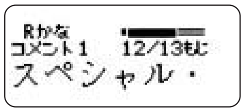


参照 文字を間違えたときは(➜40ページ)
すべての文字を消すには(➜43ページ)

8 あたらしい内容を入れていきます。



9 入れ終わったら、(実行)を押します。

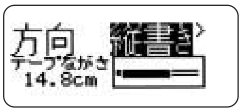


10 サンプルのコメント1を確認し、必要に応じて内容を変更します。

11 (実行)を押します。

12 サンプルのコメント2を確認し、必要に応じて内容を変更します。

13 (実行)を押します。



印刷するときのルールを選ぶ➜印刷する

14 (<)(>)を押して横書きにし、(実行)を押します。
(印刷するときの方向を選びます。)
縦書きにするときは縦書きにします。

参照 縦書き(➜76ページ)

15 「裏書き　しない」になっていることを確認し、(実行)を押します。
裏書きにするときは、(<)(>)を押して「裏書き　する」にします。

参照 裏書き(➜78ページ)

16 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。



17 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして(実行)を押します。(印刷イメージを見る➜85ページ)

↓

画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
テープの余分な部分をテープカッターを押してカットします。

18 (実行)を押します。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押して、テープをカットします。

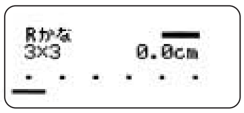
参照 ラベルを貼る(➜86ページ)

19 (<)(>)を押して終了にし、(実行)を押します。

参考 ラベルの内容を本機の中に残しておくときは登録にします。

参照 ラベルを登録する(➜93ページ)

20 「終了しますか?　実行/取消し」と表示されますので、(実行)を押します。



参考 操作を終わらないときは(取消し)を押します。

スリムフォーマットラベルを作る

MDやCD-Rの背ラベルような幅の狭いところに貼るラベルを作ることができます。
使用できるテープカートリッジは、3.5mm幅のものだけです。3.5mm幅のテープカートリッジをご用意ください。
※CD-Rケースの厚さによっては、ラベルを貼ることができない場合があります。

操作早分かり

1 テープカートリッジをセットする
2 (機能)(スリムフォーマット/定型フォーマット)と押す
3 作成を選ぶ
4 フォーマットを選ぶ
5 画面に従って、文字を入力する
6 印刷する
7 必要に応じて本機に登録する

例



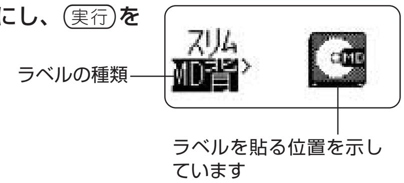
(CD-R背/番号2)

1 (機能)(スリムフォーマット/定型フォーマット)と押します。



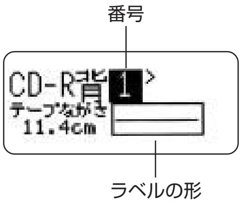
参考 画面に入力した文章があるときは「**入力中の文章が失われます**」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま(実行)を押します。消したくない場合は、(取消し)を押してから、その文章を登録します。(➔93〜96ページ)

2 (<)(>)を押して作成にし、(実行)を押します。



3 (<)(>)を押してCD-R背にし、(実行)を押します。
(規格を選びます。)

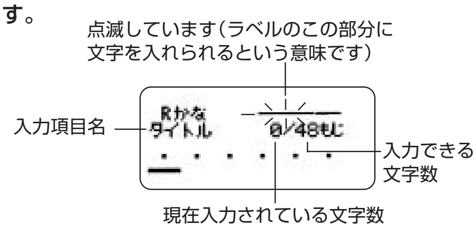
4 (<)(>)を押して2にします。
(番号を選びます。)



文字を入れる

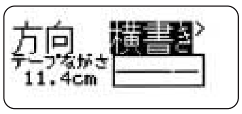
タイトル・コメントなどの項目ごとに文字を入れていきます。

5 (実行)を押します。



6 タイトルになる文字を入れ、(実行)を押します。

7 コメントになる文字を入れ、(実行)を押します。



いろいろな文字にしたい!
文字を入れているときに、次の指定ができます。
- 書体(フォント)を変えることができます。(➔66ページ)
- 文字体(太字・白抜・影付・立体)を変えることができます。(➔67ページ)

印刷するときのルールを選ぶ➔印刷する

8 (<)(>)を押して横書きにし、(実行)を押します。
(印刷するときの方向を選びます。)
縦書きにするときは縦書きにします。

参照 縦書き(➔76ページ)

9 「裏書き しない」になっていることを確認し、(実行)を押します。
裏書きにするときは、(<)(>)を押して「裏書き する」にします。

参照 裏書き(➔78ページ)

10 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。



11 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして(実行)を押します。(印刷イメージを見る➔85ページ)

↓

画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
テープの余分な部分をテープカッターを押してカットします。

12 (実行)を押します。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押して、テープをカットします。

参照 ラベルを貼る(➔86ページ)

13 (<)(>)を押して終了にし、(実行)を押します。

参考 ラベルの内容を本機の中に残しておくときは登録にします。

参照 ラベルを登録する(➔93ページ)

14 「終了しますか? 実行/取消し」と表示されますので、(実行)を押します。

参考 操作を終わらないときは(取消し)を押します。

MEMO

自分だけのデザインでラベルを作ってみましょう(フリーラベル)

本機にあるデザインだけでなく、自分だけのオリジナルラベルを作ってみましょう。
書体(フォント)を変えたり、枠やかざりをつけたりすることができます。

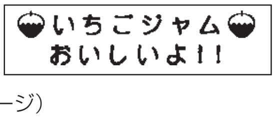
文字を入れる

文字を入れたら、まずラベルをどんなかたちにするかを決めましょう。

●1行のラベル



●2行に分ける(➜64ページ)



●ブロックに分ける(➜65ページ)



●ブロックごとに行を変える(➜65ページ)



●縦書きにする(➜76ページ)



●ラベル全体の長さを変える(➜78ページ)



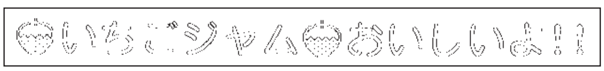
手軽に修飾する(アレンジ機能)

書体を変えたりかざりをつけたりしてみましょう。ラベル全体を修飾したいときに便利です。

●書体(フォント)を変える(➜66ページ)



●文字体を変える(➜67ページ)



●文字の大きさを変える(➜68ページ)

●文字にフレーム(わく)をつける(➜74ページ)



細かく設定する(こだわり機能)

「ここからここまではこんな文字で、ここからは…」というときは、文字ごとにこまかく指定してみましょう。

- ●書体(フォント)を変える(➜66ページ)
- ●文字体を変える(➜67ページ)
- ●文字の大きさを変える(➜68ページ)
- ●文字にかざりをつける(➜71ページ)
- ●文字にフレーム(わく)をつける(➜74ページ)
- ●ブロックの長さを変える(➜78ページ)
- ●文字やブロックの間隔を変える(➜82、84ページ)



- ●縦書きにする(➜76ページ)
- ●うらおもてを逆さまにする(➜78ページ)



- ●余白の長さを変える(➜83ページ)
- ●ラベル全体の長さを変える(➜78ページ)
- ●文字のバランスを整える(➜82ページ)



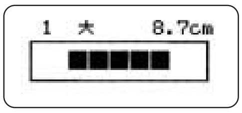
印刷イメージを見る

印刷する前に、どのように印刷されるのかを画面で見ることができます。(➜85ページ)



こんな見かたもあります

ラベル全体のレイアウトを表示させることができます。(➜85ページ)



印刷する

ラベルができあがったら、印刷してみましょう。(➜86ページ)

登録する

気に入ったラベルや、よく使うラベルは、本機に登録しておきましょう。(➜93〜96ページ)

2行以上のラベルを作る

2行以上のラベルを作ることができます。行を変えたいところで(↵)を押すと、行が変わります。
テープの幅によって、作れる行数はちがいます。

テープの幅		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
最大印刷可能行数	標準印刷	–	1行	1行	2行	3行	3行
	縮小印刷	1行	2行	3行	5行	6行	6行

- 行数とテープの幅にあわせて、自動的に文字の大きさは変わります。
- 文字の大きさを自由に決めた場合も、文字の大きさは行数にあわせて自動的に変わります。
- 24mmテープの印刷幅は18mmテープと同じです。
- 縮小印刷については、69ページ「文字が小さいときは(縮小印刷)」を参照してください。

例



1 「お誕生日」と入力し、確定します。
1行めを入力します。



2 (↵)を押します。

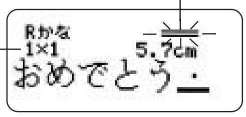


↵マークが入ります。
これは画面だけのしるしなので印刷されません。

3 「おめでとう」と入力し、確定します。
2行めを入力します。

作っているラベルのレイアウト
- 2行のラベルを作っているということを意味します
- 文字の大きさによって線の太さが変わります

文字の大きさが行数にあわせて、自動的に変わります



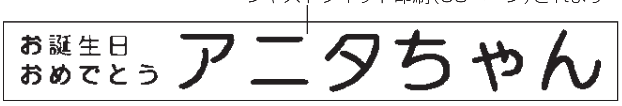
参考
- 文字をぜんぶ入力・確定したあとに、行を分けることもできます。行を分けたい位置で(↵)を押して↵マークを入れます。
- 改行を取り消すときは、カーソルを↵にあわせて(文字削除)を押します。

セットされているテープ幅に合わない行数にすると、右のような画面になり、印刷することはできません。そのときは↵マークを(文字削除)で消して、行数を減らしてください。



こんなラベルを作るには？

ジャストフィット印刷(68ページ)されます



お誕生日↵おめでとう▮アニタちゃん

↑行を分けます　↑ブロックマークを入れます(➜65ページ)

文章をブロックに分ける

ブロック

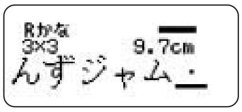
作った日：H15.9.23　りんごのジャム　おいしいよ！

「作った日：H15.9.23」「りんごのジャム」「おいしいよ！」は、それぞれ独立したかたまりです。このかたまりをブロックといいます。文字をブロックで分けて組み立てることにより、ブロックごとに長さをこまかく指定したり、いろいろな行数を組み合わせたりしてラベルを自由に作ることができます。

文章をブロックで分けるには

例　あんずジャム　りんごジャム（を別々のブロックに分ける）

1 「あんずジャム」と入力し、確定します。

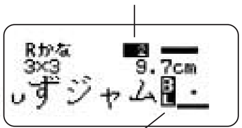


2 （機能）（ブロック）と押します。

↓

「あんずジャム」が1つのブロックになります。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかを表します。



ブロックマーク
画面だけのしるしですのでプリントされません。

3 つづけて、「りんごジャム」と入力し、確定します。

画面

あんずジャム BL りんごジャム・

ブロックマーク

「あんずジャム」と「りんごジャム」は別々のブロックになります。

参考　ブロックを取り消すときは、カーソルをBLに合わせて（文字削除）を押します。

ブロックでラベルをステキにしよう！

・ブロックごとに長さを変える（➜80ページ）

3年B組 猫田はるお ⇔ 3年B組 猫田はるお

・段組のラベルを作る（➜64ページ）

お誕生日 おめでとう　アニタちゃん

文章をすべて完成させたあとで、ブロックに分けるには

文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けたい位置にカーソルを移動させ、（機能）（ブロック）と押します。

あんずジャムりんごジャム ➜ あんずジャムBLりんごジャム

カーソル　　ブロックマーク

（機能）（ブロック）と押してマークを入れます

書体（フォント）を変える

「漢字」「ひらがな・カタカナ」「数字・アルファベット」それぞれの文字のかたち（書体）を変えることができます。

参考　書体を変えるには、アレンジ機能とこだわり機能の2つの方法があります。

重要　書体を指定すると、ラベル全体の文字が指定された書体になります。ただし、指定した書体に対応していない文字（下表の「ー」）は、指定前の書体のままになります。
また、画面のシンボル（丸ゴシック/明朝）は、漢字の書体について表しています。

書体は次の10種類から選べます。

	数字・アルファベット	ひらがな・カタカナ	漢字
丸ゴシック	PM1:00	らんちタイム	昼食
明朝	PM1:00	らんちタイム	昼食
てがき	PM1:00	らんちタイム	―
ボンジュール	PM1:00	らんちタイム	―
メロディ	PM1:00	らんちタイム	―
パレット	PM1:00	らんちタイム	―
プロデュース	PM1:00	らんちタイム	―
STENCIL	PM1:00	―	―
B.SCRIPT	PM1:00	―	―
R.STROKE	PM1:00	―	―

アレンジ機能で書体を変える

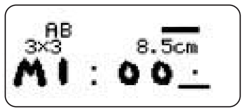
例　PM1:00（てがき）

1 文字を入力・確定し、（アレンジ）を押します。



2 （＜）（＞）を何回か押して**フォント**にし、（実行）を押します。

3 （＜）（＞）を押して**てがき**にし、（実行）を押します。
（取消し）を押すと、文字入力画面に戻ります。



こだわり機能で書体を変える

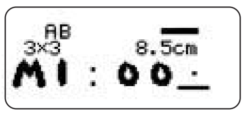
1 文字を入力・確定し、（機能）（こだわり/アレンジ）を押します。



2 （＜）（＞）を押して**文字設定**にし、（実行）を押します。

3 （＜）（＞）を押して**フォント**にし、（実行）を押します。

4 （＜）（＞）を押して**てがき**にし、（実行）を押します。



文字体を変える

入力した文字の、文字体を変えることができます。

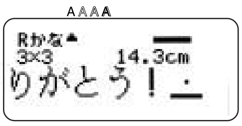
参考 文字体を変えるには、アレンジ機能とこだわり機能の2つの方法があります。

重要
- アレンジ機能で文字体を指定すると、ラベル全体の文字が指定された文字体になります。
- こだわり機能で文字体を指定すると、文字単位で範囲を指定することができます。
- 縮小印刷される文字の文字体を変えると、文字が欠けて印刷されることがあります。

文字体は次の5種類から選べます。

標準	プレゼントありがとう！
太字	プレゼントありがとう！
白抜	プレゼントありがとう！
影付	プレゼントありがとう！
立体	プレゼントありがとう！

参考 文字体を変えると、画面上に「▲」がつきます。

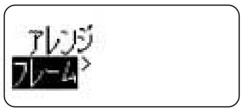


アレンジ機能で文字体を変える

アレンジ機能で文字体を変えると、ラベル全体の文字体が変わります。

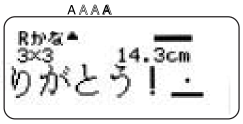
例 プレゼントありがとう！（太字）

1 文字を入力・確定し、(アレンジ)を押します。



2 (<)(>)を何回か押して文字体にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を押してA太字にし、(実行)(取消し)と押します。



こだわり機能で文字体を変える

文字単位で文字体を変えることができます。

例 プレゼントありがとう！（太字）（影付）

1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり/アレンジ)と押します。



2 (<)(>)を何回か押して 文字設定 にし、(実行)を押します。

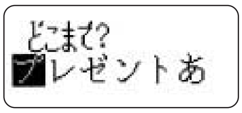
3 (<)(>)を何回か押して 文字体 にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を押してA太字にし、(実行)を押します。



5 (<)(>)を押して「プ」にカーソルをあわせます。
文字体を変えるはじめの文字を指定します。

6 (実行)を押します。



7 (<)(>)を何回か押して プレゼント にします。
文字体を変える終わりの文字を指定します。

8 (実行)を押します。

参考 文字体の指定を取り消すときは、手順4でA標準にします。

9 手順1〜8と同じ操作で「ありがとう！」を影付にします。

文字の大きさを変える

本機では、文字の大きさを決めないで印刷すると、自動的にテープ幅と行数にあわせて、最適な文字の大きさで印刷されます（これを、**ジャストフィット印刷**といいます）。
ジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決めることもできます。

文字の大きさを変えるには、アレンジ機能とこだわり機能の2つの方法があります。

アレンジ機能

文字の大きさ	プリント例
特（4×4倍）	あんずジャム
大（3×3倍）	あんずジャム
中（2×2倍）	あんずジャム
小（1×1倍）	あんずジャム

重要 アレンジ機能で文字の大きさを指定すると、ラベル全体の文字の大きさが指定されたサイズになります。

こだわり機能

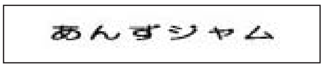
文字の大きさを1×1～4×6倍まで変えることができます。

重要
- こだわり機能で文字の大きさを指定すると、文字単位で範囲を指定することができます。
- こだわり機能での文字の大きさの指定は、テープ幅により指定できる文字の最大の大きさが異なります。

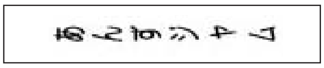
テープの幅	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
最大倍数(縦×横)	1×6	2×6	3×6	4×6	4×6

参考　縦書きと横書きでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます。

1×2（横書き）



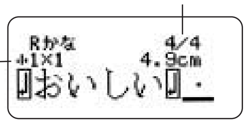
1×2（縦書き）



文字が小さいときは(縮小印刷)

「行数を多くする」、「3.5mm幅テープを使う(スリムフォーマット)」と文字は縮小印刷されます。

- ●セットされているテープカートリッジのテープ幅によって、縮小印刷されるかどうかは異なります。(64ページ参照)
- ●縮小印刷されるときは、分数でイメージャー表示され、文字倍率に「小」が表示されます。



●縮小印刷される文字は、次のようになります。
- フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。

アレンジ機能で文字の大きさを変える

例　「あんず」を特にする

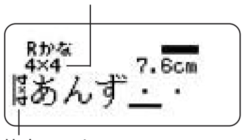
1 文字を入力・確定し、(アレンジ)を押します。



2 (<)(>)を何回か押して **サイズ** にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を押して **特(4×4倍)** にし、(実行)を押します。

(取消し)を押すと、文字入力画面に戻ります。



文字倍率／倍率マーク：指定した文字の大きさを数字で表します。

参考
- 倍率マークは画面だけのしるしですので、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを(文字削除)で消します。または、アレンジ機能で「ジャストフィット」サイズに指定します。

こだわり機能で文字の大きさを変える

例　「あんずジャム」の「あんず」を2×3にする

1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり/アレンジ)と押します。



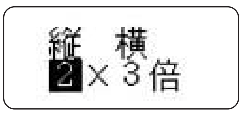
2 (<)(>)を何回か押して**文字設定**にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して**サイズ**にし、(実行)を押します。

4 (∧)(∨)を押して**2**にします。

縦の倍率を指定します。

参考　直接数字を入力することもできます。



5 (>)を押してカーソルを「横」(**3**)にあわせます。

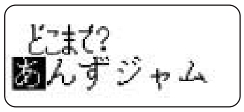
参考　数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率の数値が反転します。

6 **3**になっていることを確認し、(実行)を押します。

横の倍率を指定します。

7 (<)(>)を押して「あ」にカーソルをあわせ、(実行)を押します。

大きさを変えるはじめの文字を指定します。

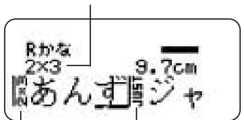


8 (<)(>)を押して **あんず** にし、(実行)を押します。

大きさを変える終わりの文字を指定します。

参考　範囲の指定は、ブロックをまたがって行うことはできません。(ブロック➜65ページ)

9 (<)(>)を押して、画面を確かめます。

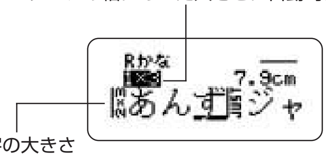


文字倍率／倍率マーク　：指定した文字の大きさを数字で表します。
ジャストフィットマーク：自動的につきます。このマークよりうしろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。

参考
- 倍率マークやジャストフィットマークは画面だけのしるしですので、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを(文字削除)で消します。
- アレンジ機能で文字サイズを「ジャストフィット」に指定すると、文中の倍率マークがすべて消え、ジャストフィットの状態に戻ります。

文字の大きさが大きすぎたときは…

決めた文字の大きさがテープの幅に収まらないときは、次のような画面になります。



文字にかざりをつける

文字にあみめを重ねたり、下線をつけたり、わくをつけたりすることができます。
文字のかざりは、1文字ごとにつけることができます。

網掛	下線	枠付
クッキー	クッキー	クッキー

参考 文字にかざりをつけるときはこだわり機能で行います。

重要
- 絵文字、縮小印刷される文字、縦が4倍の大きさの文字に下線やわくをつけると、文字と重なります。
- ブロックとブロックをまたがって文字にかざりをつけることはできません。（ブロック➜65ページ）

例



1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり/アレンジ)と押します。



2 (<)(>)を何回か押して**文字設定**にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して**修飾**にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を何回か押して**網掛**にし、(実行)を押します。
どのかざりにするか選びます。



5 (<)(>)を何回か押して、カーソルを「ク」にあわせます。
かざりをつけるはじめの文字を指定します。

6 (実行)を押します。



7 (<)(>)を何回か押して**クッキー**にします。
かざりをつける終わりの文字を指定します。

8 (実行)を押します。



こんなかざりもつけられます

網掛、下線、枠付のかざりを重ねてつけることもできます。1つのかざりをつけたあとに、つづけて別のかざりを重ねてつけます。

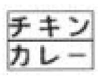
- 「網掛」と「枠付」を重ねてつけると…



※3つのかざりを重ねてつけることもできます。

- 2行以上の文字（➜64ページ）にわくをつけると…

「チキン」と「カレー」それぞれにわくをつける

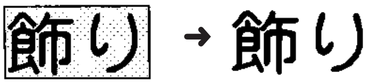


「チキン(↵)カレー」とつづけてわくをつける



指定した文字かざりを取り消す

すべての文字かざりを取り消す



1 [機能] [こだわり/アレンジ] と押します。

2 [<] [>] を何回か押して**文字設定**にし、[実行] を押します。

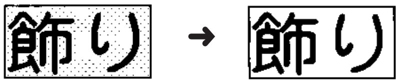
3 [<] [>] を何回か押して**修飾**にし、[実行] を押します。

4 [<] [>] を押して**取消し**にし、[実行] を押します。

5 [<] [>] を何回か押して、文字かざりを取り消したいはじめの文字にカーソルをあわせ、[実行] を押します。

6 [<] [>] を押して、文字かざりを取り消したい終わりの文字にカーソルをあわせ、[実行] を押します。

一部の文字かざりを取り消す



1 [機能] [こだわり/アレンジ] と押します。

2 [<] [>] を何回か押して**文字設定**にし、[実行] を押します。

3 [<] [>] を何回か押して、**修飾**にし、[実行] を押します。

4 [<] [>] を押して取り消したい文字かざりを選び、[実行] を押します。

5 [<] [>] を押して、文字かざりを取り消したいはじめの文字にカーソルをあわせ、[実行] を押します。

6 [<] [>] を押して、文字かざりを取り消したい終わりの文字にカーソルをあわせ、[文字削除] を押します。

文字にフレームをつける

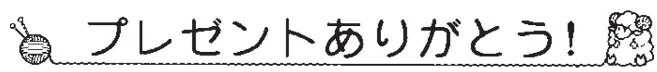
文章にいろいろなフレームをつけることができます。

フレーム一覧（➜109ページ）

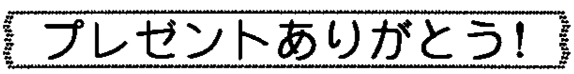
参考　フレームは、アレンジ機能、こだわり機能の、どちらでもつけることができます。

フレームの種類

イラスト



かざり



もじたんい



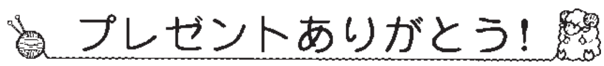
重要
- 3.5mm幅のテープでは、フレームをつけることはできません
- 2行以上の文章に、もじたんいフレームをつけることはできません。
- 6mm幅のテープではもじたんいフレームをつけることはできません。
- フレームをつけると、つけていないときより長く印刷されます。

テープ幅と印刷できる行数（イラスト、かざりフレームの場合）

テープの幅	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
最大印刷行数	1行	2行	4行	5行	5行

アレンジ機能でフレームをつける

例



1 文字を入力・確定し、[アレンジ] を押します。

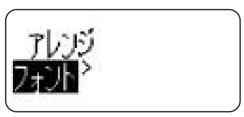


2 [<] [>] を何回か押して**フレーム**にし、[実行] を押します。

3 [<] [>] を何回か押して**イラスト**にし、[実行] を押します。
フレームの種類を選びます。



4 [∧] [∨] [<] [>] を何回か押して「 」にし、[実行] を押します。
[取消し] を押すと、文字入力画面に戻ります。



参考　フレームをつけると、画面右に「▶」がつきます。



こだわり機能でフレームをつける

例

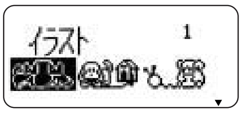

1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり/アレンジ)と押します。



2 (＜)(＞)を何回か押して**文字設定**にし、(実行)を押します。

3 (＜)(＞)を何回か押して**フレーム**にし、(実行)を押します。

4 (＜)(＞)を何回か押して**イラスト**にし、(実行)を押します。
フレームの種類を選びます。



5 (∧)(∨)(＜)(＞)を何回か押して「 」にし、(実行)を押します。
文字入力画面に戻ります。

参考 フレームをつけると、画面右に「▶」がつきます。



> **もっとステキにしよう！**
> 文字かざり・文字体・書体などで文字を変えてからフレームをつけると、よりユニークなラベルができあがります。
> ただし、文字かざりでかざりをつけた文字を「もじたんいフレーム」印刷すると、文字のかざりが取り消されて印刷されます。また、「枠付」をつけた文字を「イラストフレーム」や「かざりフレーム」印刷すると、わくが取り消されて印刷されます。
> 参考 文字かざり（➜71ページ）
> 文字体（➜67ページ）
> 書体（➜66ページ）

フレームのついた文字をもとに戻す

フレームをつけた文字をもとに戻すことができます。

1 (アレンジ)を押します。

参考 こだわり機能でももとに戻すことができます。

2 (＜)(＞)を何回か押して**フレーム**にし、(実行)を押します。

3 (＜)(＞)を何回か押して**付けない**にし、(実行)を押します。
(取消し)を押すと、文字入力画面に戻ります。

画面の右の「フレーム」の▶が消えます。

縦書きのラベルを作る

ラベルはふつう横書きで印刷されますが、縦書きで印刷することもできます。

参考 縦書きのラベルを作るには、(よこ/たて)とこだわり機能を使うの2つの方法があります。

重要 縦書きと横書きのまざったラベルを作ることはできません。

(よこ/たて)を押して縦書きにする

例


1 文字を入力・確定します。

2 (よこ/たて)を押します。

参考
- 縦書きを指定すると、画面右に「▶」がつきます。



- 横書きに戻すときは、もう一度(よこ/たて)を押します。

こだわり機能で縦書きにする

1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり アレンジ)と押します。



2 (<)(>)を何回か押して**書式**にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して**方向**にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を押して**縦書き**にし、(実行)を押します。

5 (<)(>)を何回か押して**終了**にし、(実行)を押します。

参考 「横書き」にもどすときは、手順4のときに、**横書き**にします。

こんなラベルが作れます



(キャラクター)を押し、記号の数字から「10」を呼び出す
↓
「月」を入力する
↓
(キャラクター)を押し、記号の数字から「14」を呼び出す
↓
「日」を入力する
↓
(よこ/たて)を押す

うらおもてが逆さまなラベルを作る

別売の布転写カートリッジを使って、ハンカチやTシャツなどにプリントするときは、うらおもてが逆さまなラベルを作ります。

重要 ラベル全体がうらおもて逆さまな文字になります。

例



1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり アレンジ)と押します。



2 (<)(>)を何回か押して**書式**にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して**裏書き**にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を押して、**する**にします。

5 (実行)を押します。

6 (<)(>)を何回か押して**終了**にし、(実行)を押します。

参考 縦書きで、うらおもて逆さまなラベルを作るときは…
①手順5のあと、(<)(>)を何回か押して**方向**にし、(実行)を押す。
②(<)(>)を何回か押して**縦書き**にし、(実行)を押す。

ラベルの長さを決める

ラベルは入力した文字数にあった長さで印刷されますが、必要なときは、自分で長さを決めることもできます。

ラベルの長さを決める方法

- ●ラベル全体の長さを自由に決める
- ●ブロックの長さを基準にラベル全体の長さを決める

ラベル全体の長さを自由に決める

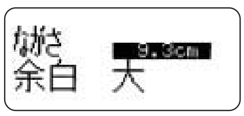
(ながさ)を押して決める方法と、こだわり機能で決める方法があります。

(ながさ)を押して長さを自由に決める

重要 この方法で長さを決めると、自動的に割付が「均等」になります。

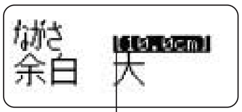
1 文字を入力・確定します。

2 (ながさ)を押します。



3 ＜ ＞を押して、長さを設定します。

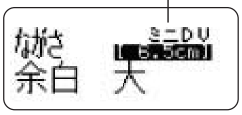
＜を押すと短く、＞を押すと長くなります。



文字数に合わない長さにすると、左のカッコが消えます。

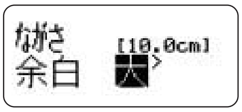
参考
- 長さを短くしたい場合は、先に手順4、5で 余白「小」に設定することをおすすめします。
- 数字キーを使って直接長さを入力することもできます。
- オーディオやビデオのタイトルにあった長さになると、該当する名称が表示されます。

ミニDVの背ラベルに適した長さであることを表しています



4 ∨を押します。

余白を設定する画面になります。



5 ＜ ＞を押して、余白を設定します。

余白の種類を選びます

参照 余白について(→83ページ)

6 実行を押します。

こだわり機能で長さを決める

重要 こだわり機能でラベルの長さを決めると、文字のバランスは自動的に変わりません。
変えたいときは、82ページを参考に操作してください。

1 文字を入力・確定し、機能 こだわりアレンジと押します。



2 ＜ ＞を何回か押して書式にし、実行を押します。

3 ＜ ＞を何回か押してテープ長にし、実行を押します。

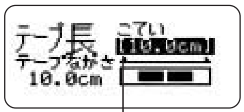
4 ＜ ＞を押してこていにし、実行を押します。

5 ∨を押します。

数字が反転します。

6 ＜ ＞を押して、数字を希望の長さに変えます。

参考 数字キーを押して直接入力することもできます。



文字数に合わない長さにすると、左のカッコが取れます
(指定した長さより長く印刷されます)

7 実行を押します。

もう一度実行を押すと、大文字入力画面に戻ります。

印刷すると…
- 入力されている文字数が多いときは、決めたラベルの長さよりも長く印刷されることがあります。

ブロックの長さを基準にラベル全体の長さを決める

ブロック(➔65ページ)の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。
- 複数のブロックの長さを変えるときは、それぞれのブロックの長さを1つ1つ決めます。
- ブロックの長さは、こだわり機能で決めます。
- ラベル全体の長さが決められているときは、ブロックの長さを変更してもラベル全体の長さは変わりません。(→78ページ)

ブロックの長さを決めると…
↓
ラベルの長さが自動的に決まる。

1 文字を入力・確定し、ブロックに分けます。



ブロックマーク

参照 ブロックの分けかた(➔65ページ)

2 長さを決めるブロックにカーソルを移動します。

そのブロックの中ならばカーソルの位置はどこでもかまいません。

3 機能 こだわりアレンジと押します。



4 ＜ ＞を何回か押して書式にし、実行を押します。

5 ＜ ＞を何回か押してブロック長にし、実行を押します。

6 ＜ ＞を押してこていにし、実行を押します。

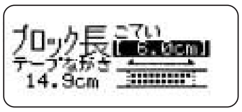
7 ∨を押します。

数字が反転します。

8 ＜ ＞を押して、数字を希望の長さに変えます。

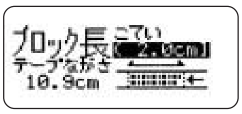
参考
- 数字キーを押して直接入力することもできます。
- ブロックの長さと入力されている文字により、次のようになります。





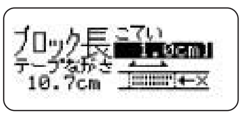
[6.0cm]
↑
指定通りに印刷





(2.0cm]
↑
文字を横方向に縮めて指定通りに印刷





1.0cm]
↑
指定した長さより長く印刷



9 実行を押します。

操作を終えるときは、＜ ＞を押して終了にし、実行を押します。

印刷すると…

- 決めたブロックの長さにあわせて、ラベル全体の長さが変わります。

決めたブロックの長さ

3年B組 猫田はるお

- 入力されている文字数が多いときは、決めたブロックの長さよりも長く印刷されることがあります。

文字数によっては長くなる

3年B組 猫田はるお/おとしもの係

決めたラベルの長さを取り消すときは

ラベルの長さを決めた後に、その指定を取り消すことができます。
指定を取り消すと、入力した文字数にあった長さで印刷されます。

1 (機能)(こだわり アレンジ)と押します。

2 (<)(>)を何回か押して書式にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して、テープ長にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を押してじどうにし、(実行)を押します。

5 終了になっていることを確認し、(実行)を押します。
文字入力画面に戻ります。

決めたブロックの長さを取り消すときは

ブロックの長さを決めた後に、その指定を取り消すことができます。
指定を取り消すと、入力した文字数にあった長さで印刷されます。

重要 ラベル全体の長さが決められているときは、ブロックの長さを取り消してもラベル全体の長さは変わりません。

1 (機能)(こだわり アレンジ)と押します。

2 (<)(>)を何回か押して書式にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して、ブロック長にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を押してじどうにし、(実行)を押します。

5 (<)(>)を押して終了にし、(実行)を押します。
文字入力画面に戻ります。

文字と文字の間隔を決める

文字と文字の間隔を決めることができます。

大(2mm) くまきちのはちみつ

小(1mm) くまきちのはちみつ

無(0mm) くまきちのはちみつ

例 「くま吉のはちみつ」の文字と文字の間隔を「無(0mm)」にする

1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり アレンジ)と押します。



2 (<)(>)を何回か押して書式にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して文字間隔にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を何回か押して無にし、(実行)を押します。

5 (<)(>)を何回か押して終了にし、(実行)を押します。

文字のバランスを整える

ブロック長を固定したときや、2行以上のラベルを作るときは文字のバランスを整えて、カッコよくすることができます。
文字のバランスを整えることを「割付」といいます。

左寄せ 8月11日 / テスト

中寄せ 8月11日 / テスト

右寄せ 8月11日 / テスト

均等 8月11日 / テ ス ト

重要 ブロック(➜65ページ)ごとに決めることはできません。

例 中寄せにする

1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり アレンジ)と押します。



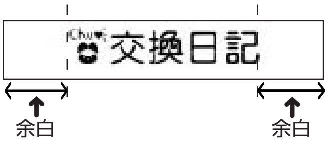
2 (<)(>)を何回か押して書式にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して割付にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を何回か押して中寄せにし、(実行)を押します。
割付の種類を選びます。

5 (<)(>)を何回か押して終了にし、(実行)を押します。

余白の長さを決める



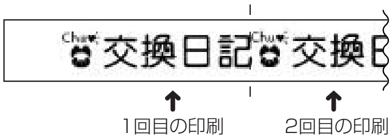
大(19mm)



小(3mm)



送り無

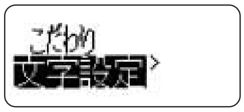


重要
- 「送り無」を選んだときは、印刷したあとに、必ずテープ送り(→87ページ)をしてください。
- 「小」を選んだときは、印刷するときに「テープをカットし[実行]」と画面に出ます。テープカッターを押してテープをカットし、(実行)を押します。

参考 電源を入れたときのはじめの余白を決めることができます(基本余白→104ページ)。

例 前後の余白を「小(3mm)」にする

1 文字を入力・確定し、(機能)(こだわり/アレンジ)と押します。



2 (<)(>)を何回か押して書式にし、(実行)を押します。

3 (<)(>)を何回か押して余白にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を何回か押して小にし、(実行)を押します。
余白の種類を選びます。

5 (<)(>)を何回か押して終了にし、(実行)を押します。

参考 (ながさ)でも、余白の指定ができます。

ブロックとブロックの間隔を決める

広い(4mm)



普通(2mm)



密着(0mm)

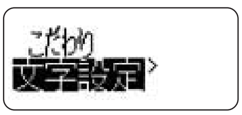


例 「千堂リンダ」と「AB型おとめ座」との間隔を「広い(4 mm)」にする

1 文字を入力・確定し、ブロックに分けます。

参照 ブロックの分けかた(→65ページ)

2 (機能)(こだわり/アレンジ)と押します。



3 (<)(>)を何回か押して書式にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を何回か押してブロック間隔にし、(実行)を押します。

5 (<)(>)を何回か押して広いにし、(実行)を押します。

6 (<)(>)を何回か押して終了にし、(実行)を押します。

どんなラベルになるのかを画面で見る

ラベルがどのように印刷されるのかを、印刷する前に画面で見ることができます。

印刷イメージを見る

書体、文字体、文字かざり、フレームなど、どんなデザインで印刷されるのかを画面で見ることができます。

1 ラベルの内容を作ります。
フリーラベルを作っていた場合は(印刷)を押します。

2 右の画面になったら、(∧)(∨)を押して**イメージ表示**にします。

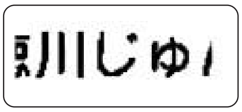


3 (実行)を押します。
ラベルがどのように印刷されるのか、そのイメージが画面にあらわれます。



イメージが流れます

4 じっくりと見たい部分が流れてきたら、(実行)を押して画面の流れを止めます。



その部分が止まります

もう一度(実行)を押すと、再び続きのイメージが画面に流れます。
操作をやめるときは、(取消し)を押します。

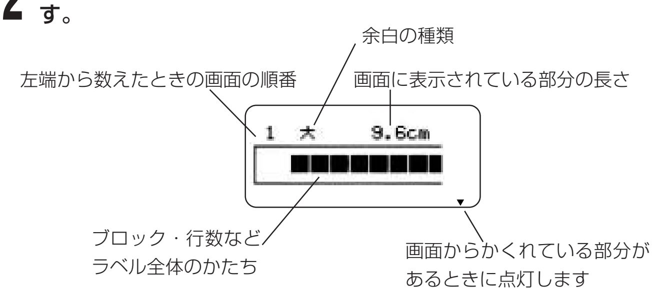
印刷レイアウトを見る

ブロック、行数、文字の大きさ、余白など、そのラベルがどのようなレイアウトで作られているのかを画面で見ることができます。

参照 ブロック(➜65ページ) 行数(➜64ページ)
文字の大きさ(➜68ページ) 余白(➜83ページ)

1 ラベルの内容を作ります。
フリーラベルを作っていた場合は(印刷)を押します。

2 (∧)(∨)を何回か押して**レイアウト表示**にし、(実行)を押します。



3 ラベルのかたちを確かめます。



参考 ラベルの内容が長いときは、(∨)を押して、画面からかくれている部分を見ます。

4 ラベルのかたちを確かめたら、(取消し)を押します。

自分でデザインしたラベルを印刷する

ラベルの内容ができあがったら、印刷してみましょう。

重要 印刷する前に、テープ出口がものなどでふさがっていないことを確かめてください。

印刷する

1 テープカートリッジがセットされていることを確かめ、(印刷)を押します。

参照 テープカートリッジをセットする(➜19ページ)

2 (∧)(∨)を押して**印刷**にし、(実行)を押します。
↓
印刷がはじまります。
文字が多かったり、くりかえして印刷したりすると、印刷中に少しのあいだ止まることがあります。

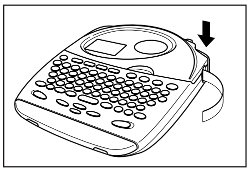
参考
- 印刷を途中でやめるときは、(取消し)を押します。
- (∧)(∨)を押して**イメージ表示**にし、印刷イメージを見ることもできます(➜85ページ)
- (∧)(∨)を押して**レイアウト表示**にし、ラベルのレイアウトを確認することもできます。

重要 印刷中は電源を切らないでください。

ラベルをカットする

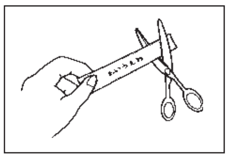
重要 ラベルの余白を「送り無」としたときは、(機能)(テープ送り/印刷)と押してテープを空送りしてください。

3 テープカッターを押して、テープをカットします。
- テープを切るときは、本機をかたむけないでください。
- テープカッターを強く押さないでください。

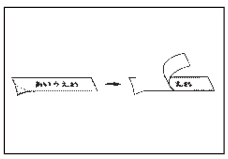


ラベルを貼る

4 ハサミなどで、好きな大きさ・かたちにします。



5 テープの裏をはがしてラベルを貼ります。



- ラベルのかどをおりまげると、裏紙がはがしやすくなります。
- 一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にラベルのノリがのこることがあります。

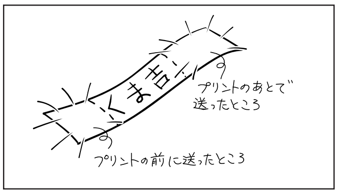
重要 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。

- 直射日光や雨があたるもの
- ひとや動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など

とくに公園・駅などでラベルを貼るのはやめてください。

テープを白紙で送る

印刷する前、した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

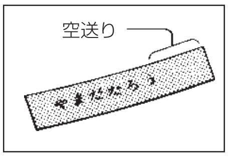


重要 クラフトシール、ファンシーテープはテープ送りができません。

1 (機能) (テープ送り/印刷) **と押します。**

↓

テープが約20.0mm送られます。



ラベルの余白を「送り無」と決めたら、かならずテープ送りを！

ラベルの余白を「送り無」と決めたときは、印刷が終わったら必ずテープ送りをしてください。テープ送りをしないでテープをカットすると、思ったところとはちがう位置でカットされてしまいます。

参照 ラベルの余白（➜83ページ）

ラベルが貼りにくいものは…

- 表面がザラザラしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP材など）